立教大學新聞

月刊毎月拾五日發行
編輯印刷兼發行人 矢彈賢一
發行所 東京池袋 立教大學新聞學會
電大塚四〇四
振替東京七〇八五二
定價一部 金五錢
一年分金六拾錢
廣告 一行五十錢
場所指定二割增

新刊

カール・ディール原著
杉山勝知・生駒佳年譯註

理論經濟學

三六判布表裝 正價金一圓四十錢 郵稅金六錢

カール・ディールはリーフマン、カッセル等の錚々たる碩學に伍して、現代經濟學界に隱然たる一勢力をなしてゐる。彼は大著「理論經濟學」で在來の諸學說に鋭利な解剖のメスを加へ、進んで精緻な論理と透徹した洞察力とで所謂「社會法學派」經濟學說に理論的根據を與へ、その獨自の立脚點を鮮明にしてゐる。本書には經濟學の對象とその隣接すべき社會科學とを論じた冒頭の二章を採錄した。讀者はそれによつてこの學說の大綱をもつとも明快に會得すると共に、リフマン、シユタンムレル、リツケルト、アドラー、ジムメル、デユルケーム等著名學者の豐富な引用文によつて各種の文獻に親しみ獨逸語學習上多大の效果を擧げらるゝことゝ信ずる。

對譯脚註 獨逸論文叢書

既刊

杉山茂譯註

物理と化學

三六判布表裝 正價金一圓二十錢 郵稅金六錢

今迄可なり澤山な對譯書が現はせられたが何れも文科向きのものばかりで理科の生徒諸君が自然科學の原書を讀まれる上の手引となり、指針となるのは皆無であつた。本書はその缺陷を補はんがために著はされたもので高等學校二三年級程度の學力を標準として材料を選擇してある。本書が原書講讀の指南書として將又受驗參考書として充分で必ず資益するところがあれば望外の仕合せである。

ショーペンハウエル原著 杉山茂譯註
讀書と書籍・婦人論
三六判洋裝 正價九十錢 郵稅四錢

ヘツケル・ダーフイツト原著 生駒佳年譯註
進化論の內容と意義と社會的進化
三六判洋裝 正價一圓二十錢 郵稅六錢

キンデルバント原著 山岡級造譯註
序曲（プレルーディエン）
三六判洋裝 正價一圓三十錢 郵稅六錢

ヒルティー原著 杉山茂譯註
人生の段階
三六判洋裝 正價一圓 郵稅四錢

水戸高校教授 莊直一著

新複式 獨逸單語カード

好評第二版

外國語を修むるカードに依るの捷徑であり、效果の多大なるは既に諸士の知悉せらるゝ所であります。弊堂仔細に學習者の要望する諸點を研究し、玆に編纂刊行の萬全を期し永く教職にあり語學界の權威なる著者に囑し、內容の撰選、分量の斟酌、使用上の便宜等、質に量にあらゆる方面から推理、檢索し、苦心幾旬漸くにして、三大特長を兼ねたる理想的複式單語カードを完成いたしました。諸士の机上に此一籤を備へらるゝ事は修學上、力の濫費を節し、學習の進步に裨益し大なるべきを信じます。

袖珍型・函入
カード六百枚
用紙强靭
正價一圓九十錢
送料十八錢

獨逸語參考書目錄贈呈
東京本郷區龍岡町
振替東京六三三八
南山堂書店

最新刊

京城大學教授 文學博士 赤松智城閱
文學士 野村了本譯

先靈觀
原始の超自然觀

宗教の原始的研究はそれが獨り宗教學ばかりでなく社會學の範圍においても重要視せらるゝことは今更云ふをまたない。吾々は原始宗教の觀念乃に形態を學ぶことによつてのみ吾々の社會生活乃至宗教生活の中心を把握することをわすれてはならない。本書は英國に於ける人類學者であり、同時に原始宗教の權威者であるマレツト博士の筆になるプレアニミズム、マナ等の原始宗教の要素に關する研究と解說とを蒐集したものである。原始文化叢書第六篇として諸家の机上に贈る。

要目
一、プレアニミズム序說
二、プレアニミズムの宗教
三、呪文より祈禱へ
四、宗教の最小限度の定義としての「タブー・マナ」の公式
五、マナの觀念

四六判約二百頁 價一圓五十錢 送料十錢 フランス綴

東京市神田區北甲賀町四
岡書院
振替東京六七六一九番
電話神田二七七五番

宇野圓空著
宗教民族學
菊判 六一二頁 定價五圓五十錢 送料三十六錢

ハートランド著 中井龍瑞譯
原始民族の宗教と呪術
四六判 價二、〇〇 送、一二

フレー！フレー！！書店へ!!!

三省堂のスポーツ書を目懸けて!!!!

昭和五年版 愈々發賣
早慶野球戰史
廣瀨謙三編 四六版二四〇頁 定價一圓 送料八錢

聽けノツクの音を！見よ早慶野球戰を！シーズンまさに酣はなり。フアンの評に曰く「戰機刻々迫る試合直前の數十分を最も有意義に費す方法は盡し本書を瞥見するにあり」。昭和五年新版を薦む!!

昭和五年改正 **陸上競技規則**
昭和五年改正 **國際陸上競技規則**
全日本陸上競技聯盟編譯 各三六版一〇〇頁 各定價三十錢 送料各四錢

日本 **陸上競技規則解說**
全日本陸上競技聯盟編 四六版約一五〇頁 定價六十錢 送料六錢

昭和五年改正 **運動競技記錄集**
廣瀨謙三編 三六版一七〇頁 定價五十錢 送料六錢

戰ふまで（女子運動家の第一人者の練習方法を見よ）
人見絹枝著 四六版一八〇頁 定價一圓 送料八錢

日本水上競技規則
日本水上競技聯盟編 三六版一八〇頁 定價五十五錢 送料六錢

水泳（我國が世界に誇る運動競技の白眉！水泳指導書の隨一）
齋藤巍洋著 四六版約三〇〇頁 定價一圓五十錢 送料八錢

競泳（極東大會迫る、本書をよむ時は今!!）
和久山修一著 四六版約一五〇頁 定價七十錢 送料六錢

漕艇（漕法・用艇・コーチ等に原則的プリンシプルを說いたボート界の好テキスト）
鷲島富造著 四六版一四〇頁 定價一圓卅錢 送料八錢

オリンピックより歸りて（第九回オリンピック水泳報告）
日本水上競技聯盟編 四六版約二五〇頁 定價二圓 送料八錢

ラグビーの見方
奥村竹之助著 四六版約二〇〇頁 定價八十錢 送料八錢

最近のスキー術（アールベルグ・スキーテクニク及ストツク・テクニク）
小秋元隆邦著 四六版二〇〇頁 定價一圓五十錢 送料八錢

近刊 競走と練習 **百メートル十五年**
谷三三五著 四六版二六八頁 一圓二十錢 送八錢

近刊 スポーツ叢書 **フィールド篇**
四六版三三六頁 一圓五十錢 送八錢

近刊 スポーツ叢書 **トラック篇**
四六版三一二頁 一圓五十錢 送八錢

發行所 株式會社 **三省堂**
東京神田區表神保町 振替東京三一〇五五
大阪南區心齋橋筋 振替大阪八一三〇〇

新刊

東京帝國大學 宗教學講座創設廿五年記念會編

宗教學論集

菊判總クロース製 總紙數約九五〇頁
定價七圓八十錢（送料廿四錢）

◇宗教的理想と生活の事實……姉崎正治
◇宗教學の黎明時代……赤松智城
◇オーギユスト・コント少壯時の論考と宗教研究……宗松秀景
◇實在するものとしての神……波多野精一
◇未開人に於ける死の觀念……原田敏明
◇西藏譯「無畏論」は龍樹の眞作なりや……池田澄達
◇アツシリヤの陰陽道と朝鮮の陰陽道……石橋智信
◇心性の歷史的發達に就いて……神林隆淨
◇宗教學上より見たる神道の特異性……加藤玄智
◇瑜伽經（ヨーガスートラ）に及ぼせる佛教の影響 特に三世實有論を主として……木村泰賢
◇アポロン宗教の一面……松村武雄
◇根本中の研究……宮本正尊
◇巴利佛教の特徵に就いて……長井眞琴
◇原始キリスト教團の成立と共生活……佐野勝也
◇認識論上の佛教……椎尾辨匡
◇唯識哲學に於ける因能變果能變の問題……鈴木宗忠
◇絕體意識と惡の問題……鈴木龍司
◇佛性論爭の中心題目……常盤大定
◇因の三相の起源……宇井伯壽
◇人身供犧と首狩の發生……宇野圓空
◇三階教と日本佛教……矢吹慶輝

發行・發賣所
株式會社 同文館
東京神田區表神保町 振替東京三一五五 大阪南區安堂寺町 振替大阪八一三〇〇
株式會社 三省堂

チヤツプリン

附錄 外遊記

チヤツプリンはわれ等の時代のシンボルだ！本書は彼の姿である。今スグこの悲しい愉快なる本を一瞥せよ！近代的英雄チヤツプリンは本書の中から颯爽として出現する。

尾崎士郎 寺田鼎 共著
四六判三七〇頁 傑作寫眞滿載
▼定價一圓五十錢 ▼送料十二錢
東京神田本郷町交叉點際 櫻田館內
振替東京七四三六一番
啓明社

永藤のパン

白パン並型 拾錢
白パン大型 拾四錢
黑パン一型 貳拾錢
葡萄パン型 貳拾六錢
ケイク一箇 七錢

永藤パン店 上野公園前
永藤同店 坂本三丁目
永藤賣場 淺草北三筋町
永藤賣場 丸ビル二号

永遠に輝くべき宗教詩集!!

最新刊

高瀨恒德著

黎明の默禱

第二の村山暮鳥を見よ！明治大正の詩壇を震撼せし情熱詩人、感覺派の先覺者暮鳥はさながら流星の如くに逝いた。暗夜の大空に瞬間ではあつたが、美しく曳いた光芒を眺めて、空しく彼の名を呼びし詩友のいかに多かりしことよ。されど喜べ彼は復活した。彼は昭和の詩人高瀨となつて再びその詩壇に其の多感な姿を現した。著者は暮鳥と同窓で彼と其の職を同じくし又彼の如く先天的詩人であり彼と友情いとも濃まやかなりし詩の弟である。彼が中央詩壇に燦として巨星の如く輝いてゐた頃、著者はつゝましくも祭壇にひざまずいてゐた。彼が華かに幾十萬の詩友に歌いかけてゐた時之は人の子イエスにのみ祕かに讚歌を奉つてゐたのであつた。然し時が來た、遂に立つべきときが來た。そして處女詩集「黎明の默禱」は産れた。十字加をバツクとし、立ち昇る煙と花の馨と人の匂ひとこの裡にその産聲をあげたのであつた。見よ何と人間味の豐なことか。恰度白孔雀の樣に端麗な、だが然し駒鳥の樣に可憐な、そして又小雀の樣なポピユラーに呼びかけてゐることよ。これこそ眞に藝術と宗教とが渾然と溶け合つた實生活のマーチなのだ。謙虛な聲で歌つてゐるあの純情な小夜樂風の小曲が聞えないのか。

收むる秀逸九十一遍、皆深夜の星のやうにまたゝいてゐる。

目次

第一章 思慕の國
思慕の國　こほろぎ　初冬　ことば　秋ふかき旅人　削心抄　晉信　しぐるゝ頃

第二章 十字架を鍛へる
十字架を鍛へる　それは大きな鐵であつた。　一家は八人　錢湯　ある朝の出來事　母よ、　一聲なき呻き　一塑の生命／

第三章 丘の上
序曲　芽　子供の聲　花の搖籃　丘の上にて　聖母　みずうみ　コスモス　草のそつぱ　ほたる灯　花ふゞき　蚊帳のころ　いい夜　古寺のほり

第四章 雲母の秋
廢園にて　落葉　細道林　やすらひ　靈の鐘　見えざる牧羊者　雲母の秋　樹の實　讚虛　草原　蒼空　創始　葡萄園　相抱くたましひ　はらからの實はうれた　葡萄の實　草の實

第五章 ふるさと
朝の挨拶　新月　ゆふ陽に　黎明の鐘をうつ　鐘　手　自動車を編む人　夕ぐるゝ修道院　ふるさと　小鳥の眼　山を下る　いたゞき　ヨルダンの岸邊にて　オリヴ山を望む　慟哭の壁　ガラリヤの湖

第六章 敬虔しい人だち
砂丘　エルサレムの石垣に　天使及エルサレムのみち　南支那海の幻想　夏の海にて　敬虔しい人だち　夕陽の街　ろざりお　獻身　呼ぶ者　雨の夜　夕暮　おもひで　蒼空　芳草　大虛

第七章 あることば
秋の空にひゞく　年頭のいのり　天に祈りまし　諸聖徒日默想　みどり兒　三つの鐘　嘆き　よみがへり　マリヤの頌　復活の歌　ある朝のみことば

四六版極上コツトン紙 天金美裝 箱入 定價一圓五十錢

最新刊

イスラエル宗教史

牛津大學教授 神學博士 アーヌ・エル・オツトレー著
岩井順一郎譯

キリストは新約に依つて知られ新約は舊約にて生ずる。そうして舊約を一貫せるイスラエル宗教史こそは實に世界宗教上の明星として永遠に輝いてゐる。若し近代的知識の光明に照して舊約書を研究せば吾人に益々、イスラエル宗教史がメシヤ及び其の國王及び人世哲學の祕密を解くべき黄金の鍵なることを確認するだらう。

四六版四百頁 定價金二圓五十錢 送料金十二錢

最新刊

心の晴雨

神學博士 稻垣陽一郎著

目次
一、心の更新
二、心の動き
三、心を映す鏡
四、心の戸
五、心の慰
六、心の彈機
七、心の帶
八、心の鎖
九、心の倉
十、心の悲
十一、心の宮
十二、心の權
十三、心の諸相
十四、心の甘味
十五、心にて主を仰げ

菊版布製 定價金九十錢 送料金六錢

最新刊

絕大なる人格

長老 前川眞二郎著

目次
一、基督の偉大なる意義
二、基督の意義ある受難
三、基督の威力ある復活
四、基督の神聖なる證跡
五、基督の神聖なる降誕
六、インカーネーション
七、崇高偉大なる基督
八、遊なる基督
九、眞理なる基督
十、生命なる基督

四六版 頁・聖書入 定價金七十錢 送料金六錢

最新刊

神の大路

前南アフリカ・アーチディーコン
ジョージ・デー・カールトン著
立教大學教授
東京諸聖徒教會牧師 須貝止譯

四六版布製・九ポイント四六四頁 定價金一圓四十錢 送料金十二錢

發賣元
東京市麻布區材木町一二四
振替東京四一七四〇
聖公會出版社

販賣店
大阪市東區內本町一丁目二十四 振替大阪二〇七二四・電話東三九三四
聖公會出版社大阪支店
神戶市中山手通り三丁目外五 振替大阪九一〇九
聖公會出版社神戶支店
其他全國基督教書店（若し賣切の場合は直接本社へ）

學習院教授 立教大學教授 文學士 白鳥淸氏編

東洋史概說

菊版三五八頁 地圖六葉 定價二圓三十錢 送料十六錢

本書は白鳥庫吉博士の學統を承けて白鳥教授が整理し、更に諸氏の學說を廣く採擇して概說としての完璧を期したもので、複雜なる民族興亡と文化の交流を綜合大觀し、スケールの遠大、論述の明快、流麗にして一大史論を讀むの感あらしめ、一讀大勢の推移を會得せしめ東洋文明の本質と由來とを把握せんとする者の必讀書である。

文學博士 松村武雄氏著

宗教及び神話と其の環境
―人類地理學的研究

近刊

東京高等學校教授 文學士 淺野利三郎代著

西洋史概說

菊版美裝 四二七頁 定價二圓八十錢 送料十六錢

著者は史論家、文明批評家、思想家で最近まで東京帝大講師たりし人、本書は從來の類書の型を破つて書頭歷史哲學を講じ、唯物史觀の批評と修正を試み、獨自の史觀を決定して物質的經濟的機構と其の上層建築たる政治機構及文化様式との關係を闡明せんと試み又古代東方諸國及希臘前史における考古學的發掘及研究の結果を網羅して在來西洋史の缺陷を補ひ稀有の收穫に加へて西洋文明の本質を把握せんとする者の必讀書たると共に、文章明快平易にして高等諸學校教科書たるにも極めて適するものである。

發行所
東京本郷駒込林町一七五
振替東京七一〇八五
白林社

王宮秘聞 ローマ法王

見よ！この戰慄すべき人肉の市場を!!

自白に暴露された法王の正体？
世界最初の法王宮秘史！

最新刊
口村佶郎著
▼四六判紙裝六三四頁箱入
▼價一圓八十錢 送料十二錢

「時」の恐るべき破壞力は、鐵火を以て築かれた羅馬大帝國をも一朝の夢と化せしめた。然し、國は亡れ時は移るとも、羅馬法王は依然南歐の一角より、魔の如き勢力を全世界に投影せさせつゝある。その史上に現れて千數百年、曾ては世界の帝王をもその足下に屈伏させた羅馬法王に向つて誰かこれまでその正體を暴露せんとする大膽不敵を敢てしたであらう！然るに見よ、今やその戰慄すべき神秘と傳說とは、突如としてこの一書によつて赤裸々に暴露された！法王！果して「生ける神」か？魔王か？著者羅馬に渡りて十數年、あらゆる追從と阿諛を打破して本書をなす。見よ、奇怪なる法王の權謀術數に飜弄されて憤死する帝王、兇惡無類の惡徒、敬虔至德の聖者、純情の處女、然もこ等をめぐつて狂踏亂舞する淫蕩極りなき貴婦人の性々活こそは、その芳烈蒸すが如き肉の香と絢爛多彩を極る歡樂の幾情景によつて、正に本書中の壓卷であらう。實にこれ、中世の忌まはしき罪惡と淫樂の中より悲鳴の如く聞ゆる肉慾と權力の一大ジヤズ・交響樂！

經濟學博士 太田正孝著

人情亡國論

第五十版突破 定價一圓半 送料十二錢

理學博士 石川千代松 二大著

人間・人間不滅

人間四十五版・人間不滅二十版突破 各冊二圓半 送料十四錢

圖書目錄 郵券二錢
東京日本橋東京驛東口
振替東京七七二一〇
萬里閣書房

學友會豫算案の成立

昭和五年度學友會豫算案は去る七日開催されたる學友會豫算委員會においてその成立を見、近く開催される代議員會によつて最後の決定を見るのであらうが、既に確定したるものと見て差支へあるまい。右豫算委員會において決定したるところを見れば、本年度收入金貳萬二千六百七拾五圓四十錢也のうち會則第廿四條により豫備費として一割を差引きたる金壹萬九千五百八圓四拾錢也か各部分割高として計上せられ、昨年度より僅に參拾九圓九拾錢の增收を見たに過ぎなかつた、しかしてこれを如何に處分割するかが同豫算委員會の最大眼目で、これが分捕りのため運動、學藝兩部の對立は既に代議員選擧に始つて委員會開催間際まで、なしうる限りの暗中飛躍、策動が徹底的に行はれ、例年の事ながら絶體多數を擁する運動部の勝利は全く既定の事實であつたがこれに對し、委員三十四名中僅々五名の委員を擁するのみの學藝部が如何なる態度に出するかしかして全國的に學友會問題のやかましき折柄同委員會が如何なる事態を招來するかゞ全學園を擧げて注目の的となつてゐた。

しかるに蓋をあけて見れば何んのこと相撲部代表委員の蜂子屋君によつて全く統制せられたる運動部はよく得意のチーム・ワークによつて善處し、學藝部またよく團結(?)して別項記載の如き結果に終つた、例年の如き兩部のみにくいいがみ合もなくかくも簡單に然も平穩のうちに豫算案の成立を見たことは學友會組織以來の珍事であらう、このいみじくも平穩裡に成立した豫算案が果して可なるか否かは、學友會問題が全國的にせん銳化し重大なる社會問題化せんとしつゝあるこの際全く問題であるが、こゝには五年度豫算案が芽出度く成立したことに對して委員諸氏の勞を謝すに止めよう。

然しながら、例年あれ程の對立ぶりを示す運動、學藝兩部がかくも簡單に安協し得た裏面には、當局が如何に苦心し、これを惡意に解すれば如何なる策動を試みたかを考へて見る余地がある、しばしば述ぶる如く今や各大學高等專門學校における學友會、校友會問題が如何に當局を神經過敏ならしめてゐるかを我々は思ひ合せて見る必要があるのではあるまいか。

我々が忘れてならないことは學友會は我々のものだといふ事である。それは我々の絶體的自由自治の下に活動しすべてを執行し得るものでなければならない。

今やその鐵壁が當局の巧妙なる戰術によつて犯されんとしてゐる。學生大衆よ！ 學友會を守れとこの危機に臨んで我々は絶叫せざるを得ないものである。

作振會問題

久しく平和であつた（少くとも皮表的には）學園に、今新學期の四月下旬突如として商學部作振會の名の下に、商學部學生大會を開き、學校當局に對する歎願條項三十二個條を議決して、學長の手下まで差だすことを決議し、雨か？ 嵐となるか？ 全學生の注目の的となる事件が起つたことは、衆知の如くである。

然るにその後該事件は遲々としてはかどらず、交渉委員の懸命なる努力と熱意とをもつた交渉をよそに、商學部生を含めた學生大衆の頭よりやうやく消え去らんとした頃の五月十日の午後「歎願書交渉報告演說會」が作振會の名で開かれた。集るもの實に三十有余人！ 何といふ意氣地なさ、不眞面目さだ！！

「文科會」問題があの鳴物いりで都下新聞の社會面に麗々しく掲載された事件もどゞのつまりは有耶無耶の裡に龍頭蛇尾化してしまひ、今また「歎願書」問題もその轍を踏みつゝある。

結局、この現象は何を我々學生大衆に教示するのか？ 一方の眞面目にして、學生としての十分でかつ赤裸々なる慾求・歎願の傾聽すべき叫びも、他方これ等を遊戲視し、有意義であるはずのカレッヂ・ライフをジャズ化さんとするだきすべき刹那主義的言動の輩によつて、左右され、じゆうりんされつゝあることを明らかにも教へてくれる。

「學長と學生とは一體である」と學長はいはれる。正にその通りであらねばならぬ、であるからといつて、必ずしも意見や、利害關係が一致するものでない。寧ろ他人でないからこそ、他人であるよりも余計に、然も赤裸々に慾求し、歎願すべきである。このことは少しも學園を騷擾させるのみか、寧ろ反對に平和化するものである。當局の忌避にふれるやうな筋合のものではなくて、反つて意志の疏通をはかる役割からしても、賞讃されるのが至當である。

全學生大衆は、母校の名擧のためには、たとへそれが我田引水であらうとも、手前味噌と嘲けられやうとも、やつきとなり、必死となつて弁解し、弁護するだらふ自分のために、又母校のために。あるひは又野球の應援に聲をからすであらふ愛校心を持つてゐるはずだ。

然し、それだけがすべてではない、否かへつて本當の意味での愛校心は對外的な雜件ではなく、まづ學園內部における學生の眞摯にして赤裸々なる母校改革の雄叫びに、雷動にではなく、自信ある批判檢討の眼力と、確固として動ずることのない定見とを持つてその傘下に馳せ集るべきだ。かくてこそ、正常にしてかつ十分なる要求は貫徹し、母校改革の實は着々として進むであらふ。

運動部の專横も見ず豫算案無事決定す

學藝部は前年度豫算を踏襲して

去る七日豫算委員會

第二次代議員選擧の物すごい桎梏から推して運動、學藝兩部の對立は正面衝突を免れぬものと憂慮されてゐた學友會本年度最初の委員會は別項詳報の如く去る七日午後一時十五分より開催されたが運動、學藝兩部が如何程の豫算を請求するであらうかあるひは又**如何なる戰術を以て目的の貫徹に向ひ鬪爭するであらうかは大いに興味ある問題とせられてゐた**が同日の委員會は殺氣立てる前景氣の物すごさから一般からその成行をもつとも憂慮されてゐた本年度豫算案は會計矢澤氏提案の安協案に基き審議の結果**同案に多少の修正を加へて滿場一致を以て可決**した、それによれば**運動部本年度豫算は一萬四千五十八圓四十錢、學藝部は五千二百五十圓および豫備費は一千八百六十七圓**となり結局運動部は三百三十九圓九十錢の增收となつた、しかし運動部も本年度よりホッケー部に豫算を支給すること及び弓道部の加入等のため三百五十圓の增加は一般各部の豫算から見れば大した增收となつて現れない、豫備費中部外團體へ支給される總額は九百圓に**減額されたゝめ今後この方面に於いて物議が釀される**原因となるやも測られぬ、本年度豫算案決定後弓道部より學友會加入の申請あり討議の結果滿場一致を以てこれを承認し議案の審議を終る、かくて恒例の學友會豫算委員會は午後五時無事閉會した

決算報告から質問戰開かる

矢澤氏の提案效を奏し委員會目出度く終る

本年度最初の學友會委員會は去る七日午後一時十五分より二十四番教室にて開催

杉浦會長をはじめ須藤幹事、矢澤會計、部委員及び十三名の代表委員（四名欠席）の諸氏出席定刻杉浦會長議長席につき型の如く人員の點呼を行ひ委員會の

成立 を宣す、次いで矢澤會計より昨年度學友會收支決算報告並に各部決算報告につき詳細なる報告あり全員異議なくこれを承認「只今矢澤會計より說明があつた如く本年度收入の增收は僅に參拾九圓九拾錢であるからお互に欲の張り合をなすやうなことなく協調的態度を以て充分愼重に審議されたい」と議長一本釘をさし昨年度の比例を

踏襲 して各部の豫算を分割する方法及び本年度增收の分だけを運動、學藝の兩部で昨年度の比例で割當てる二方法が提示され、これに對し蜂子屋君から「各部について豫算を決定することは甚だ面倒だから運動と學藝の兩部に分けてある方法を以て分割するのが便宜である」との反對意見が簡單に述べられた

この時矢澤會計は蜂小屋君を手許に招いて何等かの私案を提示し同君の贊意を求める所あつた結果同君は直に

休會 を求め議長休會を宣す、時に三時十五分、運動部側委員は蜂小屋君の先導で別室に入り、協議會を開き矢澤會計よりの提議につき愼重審議を重ね他方學藝部側委員は矢澤會計につき提議の內容を聽取協議した、三時四十七分委員會を再會、議長より矢澤氏案なるもゝ說明があつたが說明議事に徹底せず

異論 續出せるも結局矢澤氏の說明によりはじめて徹底、矢澤氏案に基き討議の結果運動部へは本年度增收金三十九圓九十錢および豫備中より出せる三百圓を前年度豫算に加算支給することおよび學藝部は前年度豫算を踏襲することに意見の一致を見、議長裁決すれば滿場贊成す、次いで弓道部の加入

申請 につき討議の結果異議なく同部の加入を承認した、波瀾を豫想させた學友會委員會もかくて午後五時無事散會

運動各部の豫算決定

去る十三日の協議會に於て

運動各部豫算割當は去る十三日相撲部道場で行はれたが今年度增收金三百五十圓の內三百圓は昨年加入したホッケー部へ殘り五十圓は今回加入の弓道部へ振向けられ殘る他部は全部昨年度豫算をそうじゆうと決定したが新規豫算は次の通りである（單位圓）

野球部	一、八五〇
庭球部	二、二〇〇
ラ式蹴球部	一、二〇〇
ア式蹴球部	、三四八・五〇
競技部	、八五〇
競技部	一、〇五〇
相撲部	一、三五〇
柔道部	、四〇〇
水泳部	一、三五〇
籠球部	一、六五〇
山岳部	、六五〇
劍道部	、三〇〇
ホッケー部	、三〇〇
弓道部	五〇

學藝部側豫算決定

學藝部側では去る九日正午より弁論、英語、青年會、音樂、新聞雜誌の諸部を合せ、本年度豫算分配につき協議の結果、昨年度豫算を踏襲することに意見一致を見、午後三時無事散會した、因に各部本年度豫算は左の如くである（單位圓）

弁論部	一、〇五六・五一
音樂部	一、〇五六・五一
青年會	五五六・六三
英語部	一、〇五六・五一
新聞	一、〇二三・八四
雜誌部	五〇〇・〇〇
計	五、二五〇・〇〇

物凄い抗爭裡に代議員選擧終る

學藝部の猛運動も及ばず

再び勝利せる運動部

學友會豫算委員會の前哨戰たる第二次代議員選擧は去月二十五日より各級にて一齊に選行、同二十八日を以て全部を完了した、これより先運動部および學藝部は代議員獲得に全力的

鬪爭 を開始、運動部は各級にフラクションを設けて水も漏らさぬ統制振りを示し一方學藝部では第一次代議員選擧の敗戰に懲りて物すごい活動をなしたが運動部の堅陣は覆し得ず再び苦汁をきつした、尚本年度代議員は運動部關係者六十八名、學藝部三十三名および所屬未定は三名である

常にない靜隱さ

須藤幹事談

豫算に對しては前年通りといふ事に決したので別に新味も加へられなかつたが運動部と文藝部との抗事もなくすらすらと議事が運んだのは例年になく氣持よかつた、各部の割當額については私個人としては多少意見もあるが現在の狀態ではお互ひに安協してゆくより外はないだらう、なほ會則について部外團體に關する規定中第二條部外團體の設立申請を六月十五日までに提出すべしといふのは部の發動を全般的に一層じん速にするため四月十五日までにした方がよくはないかと思ふ、

貧弱なる駁論

「學徒として」を讀みて

岩田岩二

四月十五日發行の本紙にかゝる、松下氏の論文は「眞摯なる」「學問の爲に努力すべき」學徒としての行くべき道を指示したものであり示唆と教示に富んだものであつた

然しながら二三の腑に落ちない點がないではない、もちろん氏は單なる隨筆として氏の所見を展開されたものと思はれるが不用意にしては余りに決定的な書見に陷つてゐられる樣に思はれる。で私は不遜をも顧みず私の讀後感を率直に述べさして頂き氏の御教示を願ひたいと思ふ。

○

氏は「現代支配關係のうち其の經濟的支配關係のもつとも稀薄なるは學生層であり」從つて「社會の學徒的意識を保持するものは學生層を除いて他にない」といはれる學生層なるものを社會關係から遊離した存在として考へて居られる氏のかゝる規定は如何なる根據によるものであらうか？

大部分の學生は父兄の脛かじりであり「社會の經濟的支配關係からもつとも自由である」と一概に單に片付られるかも知れない、然し彼等の父兄の大部分は現在社會的に如何なる地位に置かれてゐるであらうか？ 小地主、小作人官公吏、安月給取等々、彼等に眞に生活の安定があり、餘裕があるか。更に又學生自身の側より觀ても現實の學者仕送りの厚薄は元より、卒業後における彼等の生活は果して保證されて居るであらうか加速度的に增大する失業軍、益々深刻化する就職難—それは正に階級的脅威をもつて彼等に迫つてゐるではないか。即ち社會的生活苦者である點において彼等は大部分の貧しきもしくは裕かならざる父兄と共に同一線上にあるものといはねばならぬ。

從て「學生層が支配階級の壓迫に抗して大膽に眞理追求の第一線に立ち得る」のは氏のいふ如く「經濟的支配關係の厚薄」であるからではなく、反對に父兄並に自己の生活苦の意義の檢討より始まる「眞理の追求」による「純眞なる叫び」が必然的に時の支配階級の利益と相反するに過ぎないのだと私は思ふ。

○

氏は更に「毅然として」「大膽に」マルクス主義を揶揄し「彼等の把握した」と稱する眞相は「多くの場合醜い僞物である」といはれる。この事は氏がいかに「マルクス主義」に無理解であり、現實的社會の動きに對していかに迂遠であり、かつ氏自身いかに非學徒的であるかを遺憾なく表明してゐる私も、もちろん「マルクス主義の人達」の中に「感激的」に「英雄主義の幻を追ひ」「支配階級の信ずるもの を全て否定」しようとするいはゆるマルクスボーイなる一群の輕薄的モダン學生のさばつてゐる事を知つてゐる。然し今日多くの青年學徒がとうとうとして社會の研究に興味を有ち何物かを究明把握せんとする熱意に燃へてゐる目のあたりの事實を單なる流行、乃至は强者に反抗せんとする英雄的青年心理の現れだとは見たくない。何ぜなればかゝる思索と研究こそは實に前述の如く彼等自身の現實的生活に胚胎するものであり從つてそれは外部的權力を以てしては抑壓し得ない社會的必然性を持つてゐるからである。

○

然るに氏はかゝる學生の現代的傾向の本質的意義を明確に認識し得ないで—あるひは意識的に隱蔽して—次の如く論斷して居られる。……現時學生やゝもすれば「英雄主義の幻を追ひ」殊に「マルクス主義に感激し」自ら「學徒と稱し」「やたらに馬車馬式に突進してゐる」「彼等は學徒ではなくしてドンキホーテである」………と。しかして眞に氏のいはんとする所は「學問のために努力する」事、その事が我々學徒の眞の使命であるといふ點にある事は明かである、かくして氏は完全に氏自身の「正體」を「暴露」して居られる。

氏のかゝる見解は「象牙の塔」に立こもり「學問の神聖」を「學徒的矜持」もて固守せんとする人達の間には今尚隱然たる勢力をなしてゐる。彼等は常に現實から眼をおほひたがる、そして「學問の神聖」なる「幻」を追ふてそこに自己の安住地を見出さんとしてゐる。偶然ではあるが同紙の同じ欄で坂東氏か「學問」なる題下で雄弁にそれを物語つて居られる。即ち「眞本の流行」を「學問の退化」だと歎かれ「學問の大衆化」を恐れて居られる。そして「學問をそれ自身獨立したる目的として抱きこれに生き、これを喜びとする熱意を有しなくてはならぬ」といつて居られるに到つては私は唯、啞然たるを得ない。

「學問」なるものは、しかく「神聖」なものであり、大衆が近寄れないかつ近寄つてはならないものであらうか？

更にまた學徒はかゝる「學問のために努力」しなければならぬものであらうか？

○

好むにせよ、好まざるにせよ、「純眞なる學生」の大多數は混亂たる社會のうづ巻の中にあつて絶へず現實的社會苦を直視し社會現象の本質的認識に直入しつゝある。「學問のための學問」を名教授が如何に絶叫しようとも、彼等はこれに三文の價値も認めないであらう。彼等は「學問の價値」はそれが全體の社會の進步に如何に貢獻するかにおいて決定されねばならず、かつあらゆるものは歷史を押し進めて行く力に加擔した立場から探めなければならぬ事を知つてゐるからである。

現實から遊離した觀念世界に學生を導入せんとする努力、社會苦の眞因に關する學生の關心を逸さけんとするあらゆる試みがあらゆる場合、あらゆる形においてなされてゐる。即ち社會經濟の本質に關する學說並に思想の論議檢討が今や極度にまで塞がされてゐる。だがその事は一體何を意味してゐるだらうか？

氏はこの點に對して如何なる御意見を有つて居られるか、唯徒らに學生大衆の社會問題研究に對して「英雄主義の幻を追ふドンキホーテである」と憐笑する前に彼等が何故にかゝる傾向をとるに至つたかを考へる必要があると思ふ。

○

然らざれば氏はそれこそ氏のいふ如く「學徒ではなくしてドンキホーテである」であらう。

何となれば「ドンキホーテの特質は自らドンキホーテであるを事を意識しない點にある」からである。

行きて聞け！

羽仁氏の講演を

史學會の主催で

來る廿二日開催の豫定

本學史學會では來る二十二日午後一時より校友會館にて今學期最初の講演會を開催する豫定で着々準備を進めてゐる、講師は『轉形期の歷史學』の著者として

新興 科學領野にかて令名ある新人羽仁五郎氏が來學することに決定してをる、同氏の演題は未定であるが氏はマルキシストの學者的一グループ——プロレタリヤ科學研究所における唯一のマルクス主義歷史學の權威として今日まで羽仁乃至は大川の筆名をもつて幾多の著作と飜譯とを世にだしてゐる『史學雜誌』『思想』及び『新興科學の旗の下に』等に發表された著作が

蒐錄 されて『轉形期の歷史學』となりこれは既に斯學の權威により推賞されてゐる、飜譯にはクロオチエの『歷史敍述の理論及歷史』がある、氏の歷史學は如何なるものであるかは『轉形期の歷史學』における氏の言葉によつて知られよう、いはく「ほかならぬ世界事情そのものが問題の事情を決定する。前者における前進的な立場こそが後者の進步的な立場を確にする。かゝる立場はどこに見出さるべきであるかそしてこの學問の立場の

清新 をつねに得んがためには如何なる戰ひがなさらなければならないか。正直にかつ勇敢に觀、行動し、認識し理解することが、いまや特に何よりも必要である」うんぬん、ゆけそして聞け！—羽仁五郎氏の講演會を！

部長推戴問題に行惱む消費組合

學校當局よりの要求により

解決の曙光見えず

新學期を迎へての本學消費組合が新入生に對する活動は實に目ざましいものだつたが最近他大學の支部と比べて新學期の賣上高および新入組合員數は意外に少く從來までの好成績に引かへ幾分の

暗雲 を前途に見るやうになり組合ではこの原因を組合委員の努力の足りなかつた事と學校當局より指定商人と同樣の便宜さへも與へられなかつたためとに歸しその善後策を考慮中であるが、この問題とゝもに最近當局より同組合は部長を推たいする樣に通知を受けたので組合では直ちに交渉委員として加納阿部兩君をあげ當局に對して東京學生消費組合は產業

組合 法による極めて合法的な存在で實際方面における唯一の學生自治運動であつて理事として安部磯雄氏、有馬賴寧子、更に專務理事としては賀川豐彦の諸氏が學生消費組合の指導者であり我々の監督の任にあたられて居り本學消費組合がその一支部であることから考へてもそこには何等部長推たいの客觀的な理由は認めないとして種々了解を求める所があつたがその後組合委員は再三委員會を開いて當局のこの申出を如何に

討論 し合つてゐるが、組合が新學期に經驗した組合の經濟的安定をおびやかすやうな、局よりの有形無形の不利益は當然組合將來に對する健全なる發達をそ止することになり部長を推たいすることゝなつてこの暗雲を一掃する意味からいつても現狀では經濟的安定は確保されて幾分の利益は見てゐるが組合運動を全幅的にならしめるためには現狀ではまだまだ微々たるものであるのでこのためにも當局の要求通り部長を推たいするものと豫想されるが、こゝに至るまでには組合では相當具體的な諸條件を持だすものと一般より

觀測 されてゐるが部長問題決定までにはなほ相當な時日がかゝるものと見られてゐる

警

野球部の分離を望む

◇過日開催されたる學友會委員會は、例年の樣な運動、文藝兩部のみにくい、いがみあひもなく昭和五年度學友會豫算案を可決したのである。私はまだこの豫算案の內容を知らないが、從來意識的に對立し來つた運動 、文藝兩部が如何なる安協點を見出してか何の波瀾も見せず極めてあつさりと五年度豫算を成立せしめたことに對して、學校當局が何等かの策動を試みたのではあるまいかと疑はざるを得ない。

◇何となれば代議員選擧その他における兩部の徹底的な鬪爭をまざまざと見せつけられてゐる、我々は、例年の兩部の確執とあはせ考へて必ずや多數をたのむ運動部と小數ながら常に果敢な鬪爭を敢てする學藝部とが豫算分捕りといふ事實に對して必ずやみにくい(?)對立が釀され否釀されねばならぬと信じてゐたからである。

◇今や全國各大學高等專門學校における學友會問題はその入會强制の是非、選手制度撤廢、運動學藝兩部の確執、等々益々尖銳化しこのまゝに放置するときは重大なる結果を惹起すものと文部當局が遲ればせながら察知したらしい。そうなる事が彼等にとつてどんな脅威であるかは推察するにあまりあるではないか。

◇その內命を受けてか否か學校當局は今回の豫算委員會において兩部の對立を緩和すべく何等かの小策をろうしたに違ひないとは何人にも考へられる所であらう。これの學校當局の策動が見事圖に當つて今回の樣な結果を見たのだと私は考へる。學校當局よ！ それは余りにも見えすいた策ではないか？

◇この機會に私は我が學友會に、もつともつと當を得た緩和策あることを提示したい。それは野球部の學友會よりの分離、これである。六大學野球リーグ加盟校中その學友會に關係をもつものはひとり本學のみである。野球部は春秋二季のシーズン每に萬を數へる金圓の收入あることは何人も知る所である。かくの如き大收入ある部が學友會の一部として存在することは、他部との均衡上決して面白い事實ではあるまい。當局よ！ 當局は何故小手先の小策にあくせくとしてこの樣な堂々たる大策を施しないのか。

◇野球部の學友會よりの獨立、これはとつくに實現されて可なるべきものではないのか。敢て私は學友會各部ならびに學友會幹部の一考を促す。そうなる事によつて當局の望む幾分の一程の効果が擧げ得られると信ずるから。（鐵）

多く讀まれる橫綱は哲學書

文學書の進出を物語る

圖書貸出數調査

過般本學圖書館では昭和四年度圖書貸出數を調査發表した、藏書の增加と共に利用者の激增しつゝある傾向は今回の

調査 が事實を物語つてゐる、即ち昨年度總貸出數は一萬四千八百二十七冊で和書と洋書とに二分計算すると前者は一萬三千四百三十九冊、後者は一千三百八十八冊で和書が斷然多數を占めてゐる、次に一番多く貸出される圖書を調査すると哲學書の四千九百七冊が斷然他をリードしてをり、文學書の二千二百七十二冊がこれに次ぎ最低が美術書の三百九十二冊となつてゐる、社會

科學 書は一千七百四十二冊で第三位に落ち昭和三年度の最高に對して非常な減小振を示してゐる、次に洋書について見ると文學書の五百五十九冊が第一位を占め實用技術書の六十五冊が一番少い、文學書の貸出數が第二位の社會科學書の百三十一冊に比しても

四倍 以上になつてゐるのは最近文學部關係の學生の利用者が激增したものと見られやうか？

南米事情講演會

井上、伊藤の二氏を聽し

本學會を始め弁論部、經濟學會、商工研究會、キリスト教青年會、聖アンドレ同胞會、ユニバーシティー・ミッションの學內七文化團體はその共同主催の下に南米事情講演會を昨十四日午後三時から二十四番講堂において開催したが講師は神學院教友、南米ブラヂル聖公會宣教師、長老、伊藤八十二師、管教授の岳父で代議士井上雅二氏の兩氏で交々熱弁をふるひ五時半散會したが、聽衆多數すこぶる盛會であつた

弁論部

來る廿八日演說會開催

活躍を期する

本學弁論部では去る十二日午後三時より同部々室にて委員會を開催し同部當面の諸問題につき協議をなし來る二十八日新入生歡迎演說會を開催すると共に活ぱつなる活動を開始することに意見の一致を見左の事項が決定した、殊に今後開催する豫定の每週水、木曜の教育部に每週月曜日放課後の練習會は一般に期待されており去る十二日第一回練習會は新入部員十五名のオール出席を得て活ぱつに開かれた、來る十三日明治大學ホールにて開かるゝ關東雄弁聯盟幹事會には本學より坂谷、石井の兩君が出席した、尚來る二十五日日本大學雄弁會主催の全國高等大學招待雄弁大會には本學より山內丈夫（本商二）石井泰（豫三）の二君を派遣することに決定した

第六回洋畫展覽會近く開催

本學洋畫クラブ第六回展覽會は五月十九日より二十五日まで例年の通り食堂において開催される會員諸君の眞面目なる研究の結果締切は十八日だが既に作品は山積の有樣で、非常な期待をかけられてゐる

プロ科學第二回總會

十一日開催

プロレタリヤ科學研究所第二回總會は去る十一日午後一時よりお茶ノ水文化學院にて開催、入場者の身體檢査をなす官憲の嚴戒裡に川內唯彥、山田清三郎兩氏正副議長に推薦され、次いで小川信一氏より昨年度の活動報告があり世界情勢研究會、支那問題研究會、日本資本主義研究會等々十四研究會の研究會確立の件は各研究會擔當者により詳細說明後質問、希望等が活潑に提出され議場に活氣を呈した、これが終つてプロ科學研究所組織確立の件、財政確立の件、再組織の件、編輯方針確立の件等々が審議された結果機關紙『プロレタリア科學』の大衆化及び理論と實踐との統一の問題等が不完全ながらも決定し、こゝに同研究所の必然的方向がほゞ確立することゝなつた、最後に委員の改選を行ひ委員長には秋田雨雀氏及び今回新設された書記局委員長には小川信一氏が推薦され秋田氏の閉會の辭を以て七時半盛況裡に散會

期待に反きてB級に失墜

强打者振はざりし

春季六大學リーグ戰

久しく投手難をかこつ本學チームも今年は珍らしく有望な新人を多く迎へて活氣を呈し花やかな春のシーズンの活躍が期待されたが案外不振を極めて立教ファンを失望させた、まづトップを切つた對法政戰に

若林 に牛耳られて八對四と十三對零といふ大きなスコアーで敗れ續いて明治にもストレートでノックアウトされ久しくテールエンドを守つてゐる帝大にも一回戰はどうにか勝てたが二回戰には一擧に十一點も奪はれて結局十二對零で屈へられたりして甚だ寒心すべき狀況にあつたが中ごろからやゝ好調を示し

繩岡 の善投と首位打者の頑張りで早、慶に各々一回づゝ食込んで氣を吐いたが辻の球運に依然すご味乏しく新人選手中にもいまだリーグに立つほどのいゝ投手が出ず漸く繩岡一人の腕にすがる狀態では彼一人如何に頑張るとも金鐵ならぬなまのからだで連投又連投は無理も少し程度をこしてゐると思はれる、その上、攻擊面でも中島、三浦、山城といふ超弩級が

三振 を喰ふといふ慘めさで全く窮地に陷いつてしまつたがたゞ全軍よくチームワークを整へてのびのびとしたプレイを演じいはゆる立教スピリットを發揮したのは敗れたとはいへ心ゆくことである。なほ殘る帝大との決勝は來る十九日神宮球場において擧行さるゝが對慶大決勝は極東大會の關係で無期延期となつた

雜誌發行

活躍を期するY・M・C・A

本學Y・M・C・Aでは今回同會唯一の機關誌『立教青年』從來のプリント刷を活版刷りに改めると共に編輯方針にも大刷新を行ひ同誌の一般學生間への普及にも努めることゝなつた、尚同部總ての諸事業もこの程に至り具體案を得近く實現を見るはずである

極東大會の籠球選手

二名選拔さる

第九回極東オリンピック大會籠球戰に全日本を代表する籠球チームに本學より先輩野村、內田、戶張の諸氏現役より劍持君が選手候補として選任されたとは既報の通りであるが此程決定發表されたメンバーによれば本學よりは野村、劍持兩君が選任され晴れの國際舞台に活躍することになつた、去る四月廿七日Y・M・C・Aに於て行つた本學對極東チーム戰は三十一對二十のスコアにて本學は敗戰した

時間空間

×

昭和五年度學友會豫算案決定、まづ芽出たし。

×

新潟高校における校友會入會自由の問題、近くは東京高校における校友會費不納同盟その他等々は學友會なるものゝ崩壞過程にあるを物語らずして何事を物語るものぞ。

×

より高級なスローガンと結びついてこそ當面のスローガンは有效である。

×

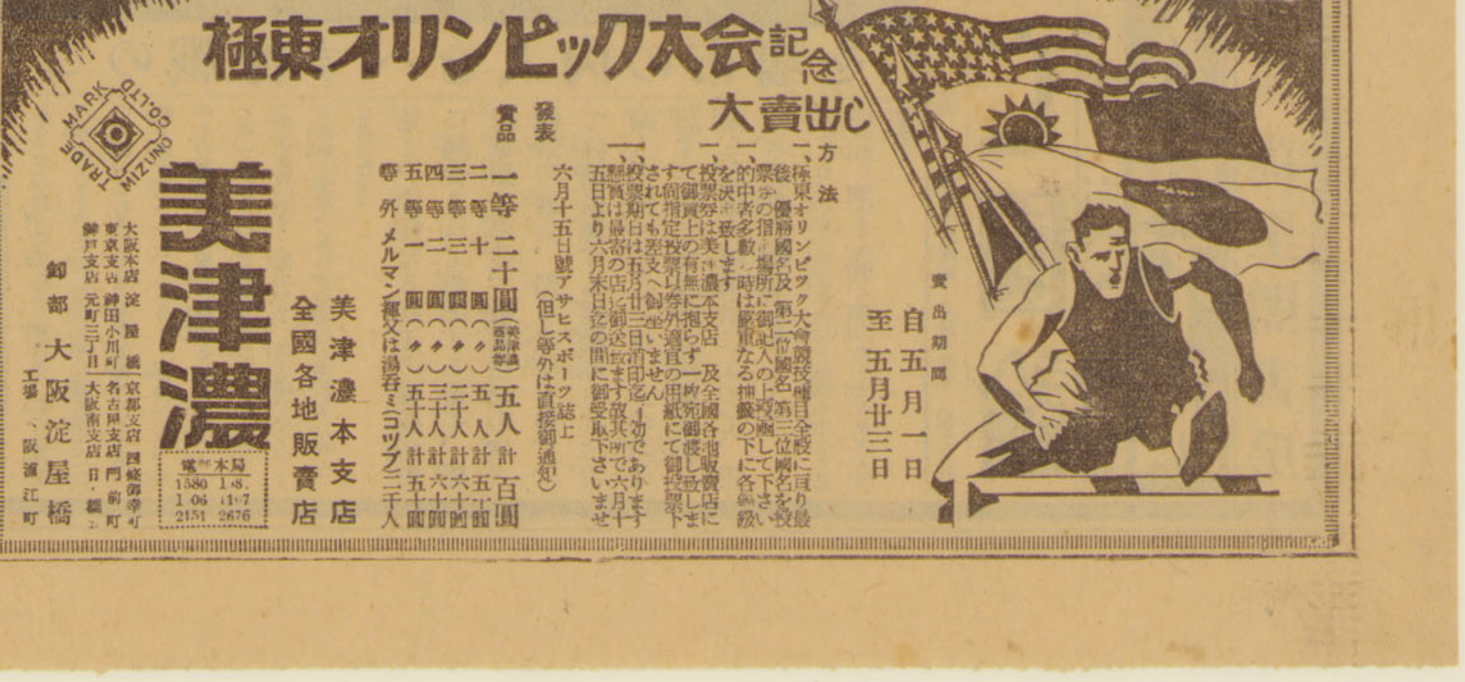
スローガンから觀た商學部作振會の壽命は永くはあるまい。だが强力なる作振會が再び學生間に要求されるに至るであらう。

×

父兄の經濟的沒落過程に直面しながら無關心な學生、どんずまりまで行つてから「どうすべエ」では間に合はぬぞ。

×

部長を强制される消費組合、頑强に戰ひ拔け！


極東オリンピック大会記念
大賣出し
賣出期間 自 五月一日 至 五月廿三日
方法
一、極東オリンピック大會競技種目全般に亘り最後の優勝國名及第二位國名第三位國名を投票の指定場所に御記入の上投函して下さい的中者多數の時は嚴重なる抽籤の下に各等級を決定致します
一、投票券は美津濃本支店及全國各地販賣店にて御買上の有無に拘らず一枚宛御渡し致しますが指定投票以外の適宜の用紙にて御投票下されても差支へ御座いません
一、投票期日は五月廿三日消印迄有効であります
一、懸賞は最寄の店に御送致します故其所で六月十五日より六月末日迄の間に御受取下さいませ
發表 六月十五日號アサヒスポーツ誌上（但し等外は直接御通知）
賞品
一等 二十圓（美津濃商品券）五人 計百圓
二等 十圓（〃）五人 計五十圓
三等 三圓（〃）二十人 計六十圓
四等 二圓（〃）三十人 計六十圓
五等 一圓（〃）五十人 計五十圓
等外 メルマン種又は湯呑ミ（コップ）二千人
美津濃
美津濃本支店
全國各地販賣店
大阪本店 淀屋橋 京都支店 四條御幸町
東京支店 神田小川町 名古屋支店 門前町
神戸支店 元町三丁目 大阪南支店 日本橋上
卸部 大阪淀屋橋
工場 大阪浪江町

アイデアル レインコート
晴雨兼用
類似品あり「獅子ト象文アイデアル」に御注意を乞ふ
新定價
パレス印 ¥12.00
D 同 15.00
C 同 18.50
B 同 21.00
シルク 同 47.00
フエーザー 32.00
以上の外數種
常に流行の尖端に立つ本品の御愛用によつて 體裁… 品質… 價格… 凡ゆる點に一〇〇%の御滿足を得らるゝことゝ確信いたします
販賣店 全國有名洋品店 洋服店洋品店
發賣元 有住商店 東京銀座
TRADE MARK IDEAL

支那料理
銘酒 褒紋正宗
支那酒各種
菊水
豐島師範際
電大塚三〇八五

入寮歡迎
東都遊學の一般男學生寄宿舍
學生寄宿舍
東京市牛込區市ケ谷本村町三十番地
救世軍村井奬學寮
市電市ケ谷本村町停留場前
省線市ケ谷又は四谷驛下車
基督教主義の家庭的寄宿舍
（規則書郵券二錢）

改善項目を提げて商學部學生起つ

學生大會を開き歎願書提出

注目される成行

一昨年本學商學部の向上發展、內容充實を計るべく組織された商學部作振會はその後一時活動を休止してゐたかの如くであつたが、**新學期を迎へるや突如として大活動を開始した、**即ち「自由の學府」の名の下にその獨自の存在を認められ來つた本學が學生數の增加に從ひ昨今**とみに當局と學生との利害必ずしも一致せず、このまゝに放置するときは如何なる結果を招來するやも圖られず**ひとたび教室內にいる時そこに聞かれるものは學生の不滿不平の聲のみである、この時に當り新たに委員の改選を終へた同作振會は去**月二十八日多數學生の支持のもとに商學部學生大會を開催、**歎願書を作成これを當局に提出しその回答を求めた、これに對し當局は二日の定例評議會においてこれが對策を講じ三日學長は實行委員と會見別項の如き回答を與へた、これが報告演說會は去る十日正午開催されたが席上種々討論の末ここ**暫くは當局の誠意を認めて當局の態度を靜觀し誠意の現れを待つ事になり**何等誠意を認め得ざる場合は敢然として第二段の手段に入ることを決議したかこの成行はすこぶる注目されてゐる

異常な緊張裡に學生大會開かる

商學部作振會の主唱て

學生監退場の一幕

商學部作振會主唱の商學部學生大會は、四月二十八日午後三時から二十四番講堂に開催されたが、問題が單位數の減少を始めとしてすべて學生多數の日頃からの希望、教室における不平不滿を取扱ふものであるだけに開會前からすこぶる

緊張 し出席學生およそ百四十余名、作振會委員棚橋君推されて議長席につき滿場の拍手裡に開會を宣し、議事に入らんとするや一學生突如發言を求め臨席の岩佐學生監の退場を希望するや滿場これに和した、學生監は[illegible]して學生監に退場を要求するとは學生として非紳士的である、私の出席が不都合であるなら私は自發的に退場すると弁明的弁論を試み、緊張した場面を見せたが遂に滿場の拍手裡に長谷川氏と共に

退場 を余儀なくせられた かくていよいよ議事に入る、これよりさき作振會委員によつて作成されたる三十二項よりなる歎願事項（別項）は所狹きまでに黑板に書誌され議長は逐條これが具體的說明を試み逐條討論を試みたが單に字句の修正に止まり何れも滿場一致ですべてこれを可決、これが實行方法として右三十二項の決議事項を歎願書とし商學部長に

手交 し來る三日これが回答を求むることとして一切を委員に一任し同日會見直後報告學生大會を催すことを決議した、商學部の提議によつて同日出席し得ざりし學生のために歎願事項をあまねく悉知せしめんためプリントを作成これを配布せんとの事項決議、これも某君の提議によつて右に要する金を出席者の寄付金に仰がんとの提議可決されて委員場內を一巡するや四圓七錢の金額を得るなど、あくまで眞しな、あくまで相互的な

場面 を見せた、終りに議長は學校當局が何等誠意ある回答を與へざる時は第二第三の手段によりあくまで初志を貫徹せんと熱意ある決意を述べ最後に商學部の萬歲を三唱して大いに氣勢をあげ、六時成功裡に散會した

回答を求め學長と會見

三日學長室に於て

學長考慮を約し會見を終る

商學部學生大會において決議した歎願條項の回答を得るため五月三日零時半より棚橋君始め交涉委員十八名は學長室を訪れた 學長はまづ作振會なるものゝ意味をたづね學生監より委員名簿が手元まで屆いてゐないからといふ理由で正式會見を拒絕したために委員は各クラスより出でゐる四十一名の作振會委員名簿を學生監に差出し午後一時より學長室で木村商學部長、岩佐學生監立會の下に第一回の正式會見が行はれた

學長はまづ委員に今度の歎願書の發起人がたれであるかを詰問し委員は發起人は委員全部であると答へ、學長は重ねて發起人は委員全部であるとしても最初にこのことをいひだした者はたれであるかを詰問、棚橋委員はそれがたれであるか判明しない、自然發生的であると答弁し學長を中心にした木村商學部長、岩佐學生監よりの發起人についての質問にも結局たれがいひだしたか明かでないと

會見 **最初から少々押問答の形で一抹の暗雲を投げるかに思へたが**結局の意向では今後は今度のやうな交涉には各クラス委員が一名づゝ位出席して懇談的に會見したいといふことでこの問答を打切り、次に學長より歎願條項一つ一つについて簡單な回答を與へられ委員が又それに對する質問をしたが條項全部は一々に對して明確な解答は非常に少く

先づ第一項は「**考慮の余地がないことはないが規則改正は今明日には出來ない**」第二項は「確立してゐるはず」といふやうな調子で條項中の教務關係のものは主として「考慮する」規則等に關係のあるものは「文部省との交涉もあり漸進的に改善する」事務所關係のものは「お互に睨み合ひ氣をつけねばなぬ」「就職問題人事課等は努力してゐる」その他二項は（特にひす）は撤回を命ぜられて

一見漠然とした回答であつたが**學生の要求をある程度まで當局に認められ**當局との意志の疏通を欠く點も判明して學長始め木村學部長、岩佐學生監の日頃のいかめしい顏も何時ともなくくずれ笑談の一つもでて四時間の後午後五時委員一同は退出した

◇學生大會歎願事項◇

この度の學生大會において決議したる歎願書は次の三十二項より成るがある事情により二項は特にこれを抹殺する

一、單位數ヲ二十五單位トスル事 一、原級ニ留メザル事 一、單位制ノ確立 一、卒業論文ヲ壹單位トスル事 一、卒業年度ノ再追試驗ヲ同年度卒業式以前ニ施行スル事 一、商學科卒業者ニ對シ敎育史、敎育學ヲ履修シタル時ハ中等敎員、商業簿記商事要項ノ免許狀ヲ授與スル事 一、經濟科卒業者ニ對シ敎育學敎育史ヲ履修シタル時ハ中等敎員、法制經濟ノ免許狀ヲ授與スル事 一、卒業者ニ對シ高等敎員ノ免許狀ヲ授與スル事 **一、商學科々長及經濟科々長ヲ設クル事** 一、豫科ヨリ學部ヘ進級ノ際ハ科選擇ノ自由ヲ制限セザル事 一、大野信三氏ヲ敎授トシテ招聘スル事 一、專任敎授ヲ增加スル事 一、時間表ノ改正 一、事務員ハ丁寧懇切ナルベキ事 **一、人事課ノ徹底的改善** 一、實地敎練ヲ行ハザル事、一週一時間トスル事 一、配屬將校ハ學校行政ニ參加セザル事 一、敎練ヲ受講セズトモ點呼ヲ受ケシムル事 **一、出席ヲ採ラザル事** 一、敎授ハ無斷欠勤セザル事 一、經濟科ノ獨立 一、再試驗料徵收廢止 一、諸證明書無條件交付（割引[illegible]ノ交付） 一、圖書閲覽券ノ無條件交附、圖書館ノ設備改善內容充實、罰金制度ノ廢止 一、學科目欠點者ニ對シ再講義セザル事 一、食堂ノ改善 一、商學部研究室ノ設置 一、授業料三割値下スル事 **一、學生ノ自治權ヲ認メル事**（外二項）

歷史を尋ねて

學園生みの親初代監督ウ師

拔天連は魔法使で通つた長崎の卷

時は維新の直前徳川幕府の威望漸く衰へ國士志士の盛んに横行して「夷狄傲慢無禮神州を汚辱す、豈に膺懲の典を擧げざる可けんや」と理由もなく攘夷熱の焰に燃え立つてゐた頃伊井大老の日米通商條約の調印がされたその翌安政六年六月廿五日長崎港內へ驚異のまなこ黑船、米國軍艦ゼルマントン號が投錨した、數日は經つてある日一卷の聖書を手にした短軀、白面、碧眼、美髮の一青年が驚異と恐怖の唯中に姿を現した

此青年こそ初代の日本聖公會監督として日本新キリスト傳道の開拓者であり、榮光輝く今日をあらしめたわが立敎大學の創立者**チャニング・ムアー・ウイリアムス師その人であつた**

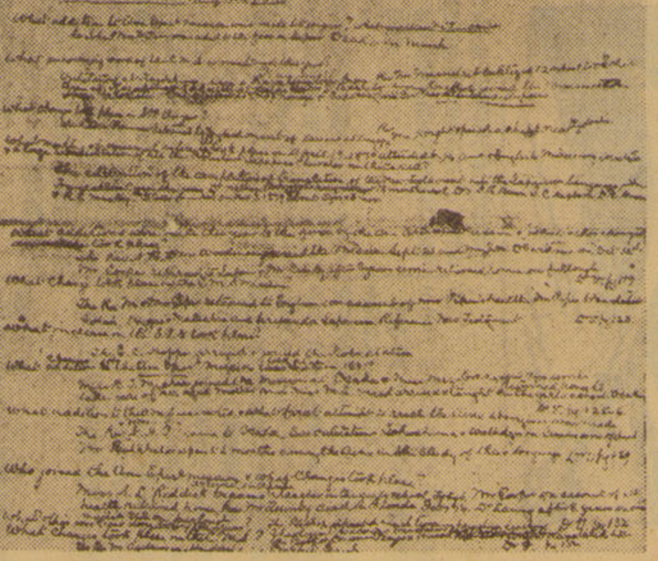
一八二九年ヴァジニア州リッチモンドのさる貧しい農家に生を受けたウ師は十七歲の頃既に聖職に自らの終生を投じやうと志して文字通りの苦學力行は遂にウイリアム・エンド・メリー大學を卒業

神學校を修了して二十六の春を迎へると共にアレキサンドリヤキリスト敎會において執事の按手を受けて直ぐ聖公會傳道會社よりキリスト傳道の重大使命を帶びて日本へ來朝したのであつた

◇　◇

攘夷と討幕の聲は徹々として四邊に滿ち、所謂幕末喧流史の一頁を今の世に飾つてゐるその頃は外國人と見れば往々に殺害、あるひは殺傷が繰返されてゐたその渦中にウ師は身を以て投じたのであつた

依然として「一切支丹宗門の儀はこれまでの通り堅く禁制の事」と太く書かれた制札は市街公共の所に掲げられてキリスト敎は最大な惡事と見做されて居た頃とて重大な使命を果すのにはいかに傳道に困難したか、いかに身を守るに專念であつたかは次に記す本部への報告書の一節を見ても窺へる


1878
1879
1880
1881
1882

前略われ等宣敎師の住地は特に困難にして日本におけるキリスト敎の先例政府者の嫉妬、條約中に米國人は決して宗敎上の怨恨を釀すが如き所行をなすべからずといふ條文並に異敎探索法のゆき渡れる事等若しこれ等の事を充分に御了解有之候へば我等が非常に小心翼々として事に從ふの心要ある事は明らかに可相成候我等の周圍には無數の偵吏附き纏ひ居り候へば若し一步を誤るときは危險云ふ可からずして忽ち人民との交通を遮斷せらるべく候後略

この樣な事情でウ師は長崎在住七年間といふものはほとんど直接傳道の任に當る余地すらなく、まれに來訪する人々に道を說くに過ぎなかつた、偶危險を冒してウ師を訪問する者にキリスト敎を魔法と心得て宣敎師から秘法の傳授を求めにくる野心家等が多くて中には面白い語り草さへ殘つてゐるそれはある深夜恐る恐る來訪した者が數本の鋼鐵の煙管を取りだしこれを金にして下さいとまるで手品師に間違へられたり、あるひは金庫の鍵が堅くて開かないで困つてる人があるが、露見せぬ樣窓から入つて寶を盜つてソット逃げる樣なキリシタン・バテレンの秘法を敎へてくれとかこの種の悲喜劇が來訪者の大部分を占めて居たのであつた

◇　◇

斯る徒事にまぢつて西洋文明の新知識に渴へて長崎へ留學中の藩臣藩士のある幾人かは秘かに來つて英語の敎へを受けて居たのであつた、ウ師もまた日本語修得と日本人に接近しようとした所からこれ等の集る青年に英語數學等を熱心に敎授したものでこれ等が日本におけるミッション・スクールの起りであり、かつ今日の盛大の基を開いて築かれた立敎學院の濫觴であつた。青年大隈八太郎等がこの塾に出入したのはこの頃の事であつた

◇　◇

爾來今日に至る六十有九年ウ師の歿後小さいながらも塾を開き後に大阪に移るにおよんで大阪英和學舍を又東京に立敎學校を見るに至つたのはその源を長崎のウ師の小塾に置くのである

（寫眞はウ師の執筆になれる「敎會歷史問答」原稿の一部）

當局の態度暫く靜觀

回答報告學生大會

學長との會見顛末報告學生大會は會見直後開催のはずであつたが時間の都合で去る十日正午より二十四番講堂において舉行されたが、當日舉行の早立野球戰應援に學生を奪はれてか出席學生すこぶる少數であつた、棚橋君議長席につき當局の回答について逐條報告し當局より撤回を命ぜられたる事項に關しては相當活潑な討論行はれて緊張味を見せたが結局無條件で撤回することとなり他の事項については當局の誠意を認めて暫くは當局の態度を靜觀し何等の誠意も認め得ざる場合には第二、第三の手段に移ることを滿場一致決議し今後の活動に資するため左記十五名を幹事に舉げ散會した

太田、若栗、都築、川妻、諸井、坂井、石井、伊藤、大庭、齋藤、板谷、大川、三木、下田、湯橋

決議文を突つけ盟休を敢行

學園自治權を蹂躪されて

二千の立正大學生が

昨年四月六敎授解職問題から紛擾を起し學生側の隱忍自重で辛くも事なきを得た立正大學ではその後も清水學長は事每に學生側の要望を退け敎授會の結議を無視してまでも宗務當局に

迎合 し、大學財團に學園自治權を讓り學園自治權は全くそのじうりんする所となり、學長はひたすら自個の地位の安全を希つてゐるといふ狀態で、今日まで忍びに忍んだ同大學二千の學生は遂に堪え兼ね去る一日大講堂において學生大會を開催

一、我等立正大學全學生は現清水學長猊下の即刻辭職を要求す

二、辭職せらるゝまでは全學生は登校せず

の二項よりなる決議文を作成、これを學長に手交すると同時に（假本部を寄宿舍內に置き）同日正午より一せいに同盟休校を

敢行 し當局の猛省を促してゐるが、當局は何等の誠意を見せず事態は益々尖鋭化する傾向にあり、今尙盟休中であるが、去る七日學生代表は文部省に出頭して文部省學校自治權認可を防止し自治權を學生の手に回復すべく陳情する所あつたがこの成行はすこぶる注目されてゐる

聖公會系信者の大觀光團來朝

懸案事項に光明を與へん

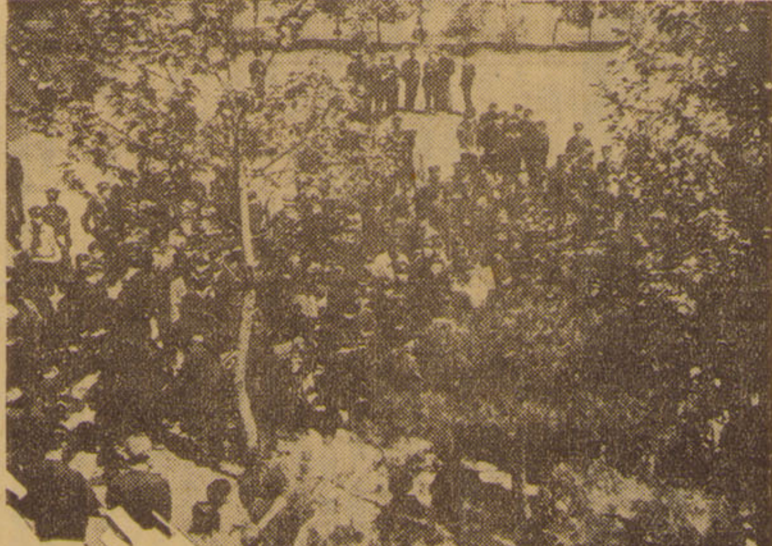
ただし二年先の話

[illegible]學部建設問題、財團法人制問題に行き惱む本學當局にとつてかすかながら希望の光明がうかゞはれる樣になつた、話は少々待遠しい二年さきの事であるが、目下滯米中のポール・ラッシュ氏が中心となつて奔走の結果聖公會信者約五百名からなるセントアンドリウス協會員が來々年我國を訪問する事になつた、同協會は米國の聖公會信者中の名士を網羅する有力なる團體であるので來朝の曉は聖公會關係の諸事業を視察して大會を開き、これ等の事業に關する種々の問題を議するのでその節には本學當局の如上の問題も一氣に解決せられるのであるまいかとみられてゐる

立教高女の校舍落成

明日落成祝賀會舉行

本紙もしばしば報道したる如く米國ミッションより五十萬圓の資金を得て一昨年來着々進行していた立敎高等女學校々舍は遂に本月その完成を見るに至つた、總ての設備に惠まれたこの理想的新校舍は女學校としての設備外觀ともに全國にその比を見ないものであるその意義ある新校舍の落成式並びに祝賀會が明十六日午前十時より新築校舍大講堂において催さる當日は創立五十年記念式及び昭和四年度の卒業式をも兼ね行ふ本學より總長、學長その他多數が出席するはずである



岩佐學生監舍監を辭す

後任には金子、小澤の兩氏

學生監と寄宿舍監を兼任の岩佐敎授は今般、兼任の多忙その老齡に耐へずとして舍監を辭すべく最近その意を決せられた、杉浦學長もこれを諾とし近く岩佐敎授の舍監辭任の正式發表を見るに至るはずである。敎授は今後、專心學生監として學生の指導を續けられるはずであるが、氏の老齡を以て今後何年その指導を仰ぎ得るか、震災直後氏の就任以來舍監の任を續けられここに實に七年、多くの舍生を薰陶せられ來りし功勞を學生は感謝して然るべきである、尙、後任舍監には金子、小澤兩氏に內定せるとの事、岩佐敎授の舍監辭任と共に近く公表を見るに至るはずである

本年度學部豫科特待生

本年度特待生左の如し

◇學部　庄司義之（經二）永松一郎（哲二）淺井武（英二）百岡止（英二）杉木喬（英三）今井正道（宗三）富田光行（宗三）[illegible]讓（宗三）石田新一（宗二）

◇豫科　鍋島能正（文三）奧田禹藏（文三）宮田美彥（文三）[illegible]田靖一（文三）淺越豐（商三）加固秀弘（商三）米村勇雄（文二）根岸源三郎（商二）大江吉一（商二）

強豪大畠を屠り太田君優勝

關東學生角力個人試合に

對校試合は第四位

第十一回關東大學專門學校相撲大會は十一日午前八時より國技館において舉行されたが參加校數二十に及び壯觀を極めた本學は先鋒伊瀨、四將米山、中堅太田、副將宇田川、大將光川のメンバーで出場し對校競技に第四位となり個人優勝戰に

主將 太田は一昨年の優勝者國學院の大畠を屠つて見事優勝した對校戰においては東京藥專を五點零、中大を三點二で破り拓大に二點三で負けたが勝點數十を得てベストエイトとして殘りトーナメントを行ひ本學は日大に三點二で勝つたが準決勝に早大のため四點一で破られつゞいて拓大と三等決勝を行つたが三點二で敗れ遂に四等となつた。個人優勝戰には全勝者二十二名が參加し本學から太田、光川の二名出場した兩君とも第一回戰は不戰一勝第二回に光川は惜[illegible]山（早大）にうつちやりで敗れたが太田は露田（日本齒大）を第三回に大澤（明大）を倒して準決勝に昨秋堺大濱で優勝した豐平（早大）をうつちやりではうりだし最後に優勝の

宿將 大畠を鮮かなそこかけで倒し見事に優勝の榮冠を獲たなほ二位は大畠、三位は拓山の得る所となつた【寫眞は太田君】

各科敎授の英語演說

今日三時から二十四番で

本學の誇る特色である英語のコンバセーション、コンポジション、トランスレーション學に對しての學生の力が最近非常に低下したのを知つた學校當局はこれが振興策として本日午後三時より二十四番敎室で校內敎授英語演說會を開き敎授連の老ひて益々盛んなる雄弁振りを學生に傾聽させることになつてゐる出演の敎授は小島、木村、伊藤、星野、高松、菅、竹村、松下、浦口、金子、根岸の老若諸敎授だが腕によりをかけ口角泡を飛ばして一席弁ぜられるはずで日頃講義をサボル學生連中も必ず出席して拜聽し感激してしかるべしだ

力のアポロ

あゝ我が立教！

新作應援歌の練習

新作の野球應援歌は依囑中の作曲も漸く出來、去る六日正午その紹介第一回練習が體育館前廣場でグリー・クラブ員の指揮の下に行はれ時ならぬ賑はひを見せた、翌七日には宿敵慶應を遂に擊破したので學生の意氣大いに揚がり八日には明日の對早一回戰を控えて再度の練習が行はれたが、久保田、根岸、坂東、富田、矢野の諸敎授も大聲をはりあげての熱狂ぶりを示してゐた、歌は多少テンポ遲く他校應援歌に壓倒される懸念がないでもないが一般に好評を博してゐる

陣容を整へた卓球部

春季リーグに出場

關東學生卓球聯盟主催の春季リーグ戰は來る十九日對東京高校戰に始まるが本學は全日本學生卓球選手保持者たりし倉橋君を止むを得ざる事情の下に送つたが新進の選手を以つて強敵早大を對[illegible]し覇權を保持せんとしてゐる本學メンバー及リーグ日割左の如し

高塚、程塚、長島、笠井、井元、幸田、石川、石橋

十九日對東高、二十日對大正、二十二日對東齒、二十五日對農大、對早大、中央は未定

マーヴェル
蓄音器
本器を試聽せずに蓄音器を求めらるゝは早計なり
No.50 ¥50-
No.1 ¥60-
No.2 ¥75-
No.3 ¥95-
No.4 ¥150-
¥150
東京銀座三丁目
十字屋樂器店

三校競技成る

六月七日上井草トラックで

既報の如く立大商大明大の第一回三校競技は來る六月七日上井草トラックで舉行されるが本學競技部では正選手二十五人を選んで連日猛練習をしてゐる。尙極東オリンピック地方豫選入選者は左の通りで來る十七、八兩日に亙る全日本豫選に出場の資格を得た

青森、後藤、小山內、東海林、[illegible]田、野崎、小原、新潟、後藤、伊藤

期待さるゝホッケー部

新人部員の加入少なく其メンバーの上に未だ充實を欠ける本學ホッケー部も從來選手の勇猛日に勢を得て今秋のシーズンには大いにその名聲を拍するであらうとはひとり校內の聲ではない。先輩に負ふ所大として選手はその勝利を語るにけんそんを以てすれど十一日、横濱ホッケーに對して五對四、又四日法政チームと戰ひて堂々六對二のスコアーにて我が立大ホッケーの氣をはいて居る

青山學院と戰ふ柔劍道部

五月下旬本學道場で

本學豫科對青山學院高等學部第三回劍道戰及柔道戰は本月中旬本學道場において行はれるが柔道部は連勝、劍道部は一勝一敗の後をうけてゐるので豫科部員は緊張して猛練習を續けてゐる。關東學生劍道聯盟主催の春季劍道會は來る六月一日戶山學校において行はれるが本學より拾名の選手を派遣する

本學大勝

對高等蠶系弓道試合

去る五月三日本學弓道場において舉行された對高等蠶系學校の試合は七八對五三にて本學の勝となつた、十日には明大主催の都下大學專門學校招待大會に出場した、藤田君は八射七中をもつて二等、磯野君は八射六中で十等に各々入賞した、來る十四日には對早大十七日には對明大戰を行ふ事となつて居る

新聞學會新會員氏名

去る三月長谷川、和田、小林、本間の四君を送りだした本學會では今回次の如き多數の新入會員を迎へた

小島榮藏、千葉久、笠井不二男、木村保正、木村好一、陳淵壽、八島諦卿、平井明正、富樫重郞右衞門、佐藤喜雄、西田要彥、岩田憲

立教中學野外敎練習志野へ

春の修學旅行を終へた立中では來月五日より七日まで三日間習志野において全校生徒の野外演習を行ふ豫定

自由槍

▼エロ、グロ、テロ　新任伊藤大佐いかめしいお顏にも似ず、あれでいて、すいもあまいもかみ分けた苦勞人で、堅苦しい講義の內にときどきエロが飛びだすあたりは、美人の流しだがちらりほらりの風情で、初夏の暖かさにまどろみへ引込まれ勝などといへば上品に聞えるが、實際は敎室でうたゝねをしてゐる不埒な學生が聽るにも聽られずそれかといつて……と思つてゐるときだから大喜びだが、伊藤大佐殿たま〳〵の脫線講義の內に「諸君！私の家庭は子供が八人あります（笑聲起る）長男が高等學校二年で次が女學校へ二人、小學校へ……幼稚園へ……」といはれたかどうか知らないが「こんな大家族であるのに先日出入の魚屋が來て、お宅の御誂は、といつた諸君！魚屋は私をブロジヤ扱ひをしてゐるのでありますー（全くだ先生はブルとプロとの間であることはだれでも文句あるまい）その次に飛だして來たのが「[illegible]」に出てくるやうなテロ[illegible]、合計これでエロ、グロ、テロ

立教學院校友會報告

昭和四年度校友會費收納第三回報告

飯田榮一、伊東光世、伊藤重次郞、伊藤三郎、伊丹信太郞、井上辛助、稻垣陽一郞、岩瀨勝、今村武夫、石黑芳雄、池上恭雄、池田文之進、濱田收藏、早田忠雄、八島寛一、丹羽正、星野茂三郞、別府壯太郞、裴正世、轟木秀倫、豐田安太郞、豐田秀二、豐島繁臣、殿木忠男、東條止、千葉正雄、李亨雨、岡田正謙、岡田太郞、岡田博司、岡田不二男、大隅治、大久保信彥、大澤洋三、大貫琢磨、渡邊健、渡邊利邦、渡邊弘一、河上丈太郞、上洲繰一、桂島彌一、垣永遐一、鏡木武夫、吉野捷一郞、吉田尙、田原文雄、田島亨、田中緣、高橋一郞、高原鋼、竹下哲市、田島豐次、高見澤茂治、坪川宣一、根本壤、中島秀麿、中園謙吾、中谷正平、中川勳、向井山雄、村林專之助、村田健三、上田哲、野口仁作、野田健吉、野口千代彥、久保田正次、草場貫六、山田武雄、山田正司、山口民之助、山本和郞、山田藤次郞、山本茂、松忠、前波善三、待島益藏、牧賀一、增原英吉、松下正靜、前島淳、舟木重雄、福島五十丸、藤本龍雄、小林英男、小島茂雄、近藤行雄、小林克、江原秀四郞、遠藤三郞、荒井福太郞、淺井眞臣、淺見軍八、新眞一、安藤秀世、寺川和男、淺岡貫介、荒田周太郞、佐々木禮三郞、三邊秀藏、三枝治市郞、佐藤禮太郞、坂口嶋四、佐田弘治郞、金潤基、金在德、菊池武幹、三谷龍男、宮井郁夫、南幸治、我輪鍊一、島野明三、篠原三四郞、平野富藏、森政通、森田治雄、森眞琴、毛利義武、設田禮之助、杉浦眞二郞、杉野史郞、杉島龍次、砂田恵一、須之部量平、須田幸藏

校友消息

田坂長次郞氏　相州鎌倉町大町一三一三へ御轉居

田中鶴一氏　市外大久保百人町一八九へ

池田寬明氏　四谷區番衆町三一へ（電話四谷五三六八番）

武田眞雄氏　ライジングサン石油會社京城支店へ御轉勤、御住居は京城府三坂町一五五ノ七。

鈴木佐內氏　御住居は北海道夕張町彌生町二丁目

松本平次右衞門氏　府下長崎町北木一四六〇へ

三谷龍男氏　濱松市追分町二八へ

裴正世氏　池袋驛へ御轉勤、お住は池袋一〇三五志村氏方

荒井和男氏　牛込區若宮町二〇へ

淸水淸氏　臺灣銀行本店より高雄支店へ御轉勤

植村正雄氏　今春京城高工を目出度御卒業、株式會社三中井吳服店京城本店へ御入社

藤野正文氏　大阪府三島郡茨木町下中條三二〇に御住ひ

田子精一氏　住友炭礦株式會社小樽支店へ御轉勤、御住居は小樽市富岡町三丁目三〇

萬木鐵三郞氏　豫てワシントン大學へ留學中の處今般歸朝せらる。御住ひは小石川區白山御殿町一一七

廣瀨禮六氏　住友炭礦小樽支店へ御轉勤、御住所は小樽市富岡町三丁目三一

大野一幸氏　朝鮮總督府官房國勢調査課へ御勤務、御住所は京城本町二ノ三四萬年館內

浦上廣明氏　市外大井町三四三八水野才治氏方へ

武川豐氏　陽春三月目出度御結婚、愛の御巢を府下世田谷町下北澤一八六に結ばれました

花房禮三郞氏　市外東調布町字嶺八五〇千々松氏方へ御轉居

校友野田健吉氏御嚴父野田善吉氏豫て御病氣御療養中去月遂に長逝せらる

校友野々村鎭雄氏御嚴父野々村政也氏御病氣にて折角御療養に努めたるも去月遂に永眠せらる

御轉居御轉勤その他御異動がありましたら幹事へ御知らせを願ひます。又支部會クラス會等御開催の節はその模樣を御一報願ひます。この欄へ掲載して欠席された方にも樣子をお傳へしたいと思ひます。

幹事より

（廣告）

開店一週年記念
五月廿二日廿三日の二日間
レコードコンサート（無料）
レモンミルク無代提供
高級音樂レコード郊外唯一
洋酒　喫茶
孔雀

喫茶とお食事
スミレ姉妹店
ミカサ
スミレ筋向

喫茶と洋酒
ビクター電氣蓄音機常設
リーグ戰況の放送は
ビクターラジオロラで御聞き下さいませ
丸太の家
スミレ
池袋　師範横

現行の映畫檢閲

旗一兵

現行檢閲制度は支配階級自身の飽くなき階級性の擁護と、それに對立する被壓迫階級の階級的攻勢を阻止し、それによつて彼等の貪る搾取の歩を姑息的に彌縫せんとする欺瞞的意圖をもつて基本的條件とする。故にブルヂョアヂーの獨善的利益を保證する資本主義社會を強力に擁衞し、訓練された多くの勞働者、農民を阿修羅の如き資本家攻勢から開放すべき××的革命を捲き起すために、あらゆる戰術を我々の鬪士の下に動員し、當然なる政治行動を遂行せんとする時、原則的に、この支配階級の反動的安全弁である「檢閲テロル」を果敢なる鬪爭をもつて微塵に打ち碎かなければならないのである。

×

映畫檢閲制度に關する幾多の不法暴露や、鬪爭運動は嘗つて少なからず敢行されて來た。しかしそれにも拘はらず、絕體的に我々の敵の用具である「檢閲テロル」は益々その毒牙を擬して我々の頭上に肉迫してくるのである。

×

內務省の檢閲係——これが通常「檢閲」といはれる伏魔殿であるが、こゝの檢閲官は、折角健やかに誕生した映畫を、足をモギり手をヒン曲げて鐵砲玉に當つた射的屋の人形の樣に粉碎してしまはなければ勳×等かの功勞賞を胸に飾れないかと思つてゐるのだ。

最近數ケ年間の「映畫檢閲奇談史」を捲いて見てもその惡辣なる刃傷沙汰は明確に摘發出來る。

×

例へばD・W・グリフイスの「嵐の孤兒」「スカラムッシュ」、ヨセフ・フオン・スタンバーグの「最後の命令」、セシル・B・デミルの「ボルガの舟唄」、G・W・パブストの「ジャンヌ・ネイの愛」、ジヨンバリモアの「テンペスト」等は、いづれもフランス及びロシアの革命を扱つた群集場面を切除されて意識的に反動的な軍事劇（アンチ・ミリタリズムの映畫をさへ、逆利用して彼等の帝國主義戰爭に備えんとする功妙なるデマをボイコットしろ）に捏造されフリッツ・ランクの「メトロポリス」、キルサノフの「メニルモンタン」、ヴエ・トウルジヤンスキイの「ヴオルガ」等もブルヂョア封建道德や治案維持法に低觸して生贄の祭壇にさらされたもつとも有たるものである。

×

また日本映畫においても伊藤大輔の「一殺多生劍」「新人新馬劍」古海卓二の「日光圓藏」「戰線街」溝口健二の「都會交響樂」辻吉郎の「衆張劍法」鈴木重吉の「何が彼女をそうさせたか」東京及び帝キネの「都會双曲線」等は暴虐なる官憲の鐵槌によつて遺憾なく殺戮され漸く胚芽期に達した我國左翼映畫の生産（ブルヂョア映畫會社の生産する作品は眞正なプロレタリア映畫では有り得ない。しかし我々は極力「反動映畫」をボイコットして、消極的にもプロレタリアートに對して惡感化を及ぼさない映畫を戰ひ獲らねばならないのだ。ブルジョア映畫に隨喜の涙を流す映畫ファンの八十パーセントが資に搾取下に呻吟する下層階級であることを忘れるな!—）は老猾なる特權階級のスキャップによつて懐柔されんとしてゐるのである。

×

しかし、おれ達の映畫行動を不法慘殺するのは、この內務省の檢閲官ばかりではない。『諸君達が要求してゐる映畫』を諸君達の御膳に送るまでには日本帝國主義政府は、ありとあらゆる責め道具を動員して、一の關所、二の城砦と屠殺場を設けて「野犬狩り」のやうに「おれ達のフイルム」を追驅けては撲殺してしまふのだ。

×

まづ橫濱の稅關が嚴然たる支配階級の自警團だ。この自警團の棍棒の下を無事通過して來なければ檢閲官の鋏の恩惠にも浴せない。

アイゼンシュタインの「戰鬪艦ポチエムキン」はどうなつたか? プドウフキンの「母」はどこへ蹴り飛ばされたか?

これが前門の虎である。そして後門の狼は——。

×

警視廳特高課である。映畫が出來上つてしまつたんでは遲いといふので、これ等の虎狼が直接撮影所に闖入して撮影台本や場面撮影に細心な干渉をし、先天的に映畫を改竄してしまふのである。映畫資本家も金の儲かるプロレタリア映畫を生産したいのだが（商業映畫の左傾とその限度に就いては更めて論稿を起す）泣く子と地頭には勝たれない。この「檢閲テロル」を極度に反映さすものに「所長內檢」といふ奴がある。

×

これも明らかに支配階級の利害を強力に代表せしめてゐる。日活の「汗」はいつの間にか「文部省推薦映畫」といふ生れながらの得腫を背負され「木馬の悲劇」もクラゲの樣に骨抜きにされ、下加茂のプロレタリア三部作「挑戰」「彈丸」「火盃」も、まだ母胎にある頃から打ちのめされて、やがて穩だらけになつて現はれるであらう。また最近では辻吉郎の「維新暗流史第二編」（生活戰線に喘ぐ人々）が全然「檢閲」を通過せず「撮り直し」を命ぜられてゐる。

そして少しでも「正直な映畫」を生産せんとする良心的な製作者はナンと不都合にも「國賊」呼ばりをされたのである。「都會交響樂」の溝口健二「乘張劍法」の辻吉郎は自宅に官憲の亂入を受け不當檢束されたではないか?

×

かくの如く二重にも三重にも白色テラーに包圍された日本のプロレタリア映畫大衆は今後如何にこれ等の豺狼と挑戰すべきであらうか?

諸君。

檢閲制度は資本主義社會における特殊的な現象ではない。それは日本帝國主義政府の國家的權勢から派生された一現象であつて、我々は「檢閲鬪爭」それ自體を分化遊離して鬪爭の日程に取りあげても、その惡法を行使する實體が嚴として存在する以上、それは蟷螂の斧に向ふ悲しむべき結果を招くに過ぎない。

×

即ち「檢閲制度絕體反對」なる鬪爭運動を、より廣汎なる大衆的要求にまで盛りあげて（製作者は製作者の團體を造つて抗議しろ、映畫從業員は職場の下から反對の要求を捲き起せ、映畫觀客大衆は、檢閲反對同盟を造つて輿論を沸騰させろ!）そのソリダリテイの中から、當然の歸趨たるべき××主義政府鎮壓のエネルギーを澎湃として高めてゆくのだ。

何時の日か、その成果を勝ち得るか? それは大衆が知つてゐる。

トレルチの「基督教本質論」

—菅圓吉著—

野々村戒三

トレルチの著書は、難解を以て聞こえて居る。殊に獨自の哲學體系を確立するに至らずして筆を擱いた所から、彼の哲學論の眞義を把握する事は、必ずしも容易でない。その難事を事ともせず、多年トレルチの研究に沒頭せる菅教授の篤學さに對し、私は平素から大いに敬服して居るのであるが、今回教授が、その研究の一端を公表されたについて、衷心より歡迎の意を表すると同時に、廣く斯學の學徒に向かつて、この小冊子の一讀を勸むるものである。

右を向いても、左を向いても、マルキシストの姿のみが、特に目立つて居る。今のジアーナリズムの世界に、將又やゝもすれば傳統的なファンダメンタリズムに籠城して、それより一歩も出まいとする人達の多いキリスト教の世界に、トレルチを紹介するデマゴーグには、出來ない仕事である。

この意味において、私は菅教授の學者的良心に對し多大の敬意を表するものである。トレルチは、彼自ら Meine Bücher の中にいつて居る所によると、始め哲學においてはカント、ランゲ、及びロッツエを典據として神學においてはリッチルの門人であつたが、リッチルの超自然主義に慊焉たらぬ所から、ドウムの感化を受けて、進化發展の觀念を得、ヘーゲルの哲學に多少接近するやうになつた。

又彼は、歷史と哲學とを連結しやうとする點において、一面デイルタイにも似て居る所があるから、要するに、カフタン、ヲツバアミン、及びデイルタイの說を結合し、かつ改補しやうとする所に、彼の立脚地があるかと思はれる。又宗教的解釋における直覺的方面と史的方面とをを綜合する事によつて、シユライエマヘルとヘーゲルとを調和しやうとする所に、彼の本領があるのではないかとも、考へられる。

トレルチは、前にも既にいつた通り、比較的早く逝世したゝめに十分な哲學體系を確立するに至らず、隨つて彼の論說には、方法論に終始して居るものが多い。然しそれは學問上當然な事で、まづ方法論を確定しなければ、錯雜した問題を正當に取扱ふ事が不可能であるのは、いふまでもない。

隨つて、このパンフレットで取扱はれて居るキリスト教本質論もまた「純粹に方法論的な立場から」論ぜられたもので、彼の態度は、左の如く、明示せられて居る。

キリスト教の本質なる言葉は、一般に何を意味するか。キリスト教の本質研究は、その前提として何を含むか。この問題の解決に對しては、如何なる方法と手段とが用ゐられて居るか。この課題と目的とは、一般に極めて簡單にしてかつ明白であらうか。若しこの課題が一般に掲げられねばならず、又解決されるものとすれば、如何なる要素がこの課題を構成してゐるか。それは、どこまで、純粹に歷史的な問題でありうるか。——これ等が我々の問題である。我々がキリスト教の本質なる問題に對して如何なる態度をとるかは、これ等の事柄を如何に理解するかによつて定まるのである。又キリスト教の本質規定を目的とするあらゆる試みの價値に關する判斷も、大部分、これ等の事柄の解決の如何によるのである。不正確な判斷は、ほとんど總てこれ等の方法上の前提に相違ある事を意識せず、又これを明白にしないといふ事に歸する。即ち方法上の前提の差異それ自身か、既に事實上の立場、態度の差異を、しばしば意味するのである。とにかく我々の思索の方法に就いて反省するといふ事は、紛糾せる問題に面しては、常にその問題を正しく取扱ふために不可闕の手段である。

かうした立脚地から、まづ本質概念のもつ前提が檢討せられ、次に、批判としての本質、發展概念としての本質及び理想概念としての本質等が論ぜられ、最後に、本質規定における主觀性と客觀性とが說かれて居るのであつて、「歷史と歷史哲學とは、人工的に、方法的に、分離せしめられても、事實上、前者の中には、既に後者の一破片が固着しており、しかして後者は前者の上においてのみ己を建設し得るのであり」、「それと同樣に「歷史の本質と信仰の本質とは、不斷に互に求め合ひ、見出し合ふ」のであるから、「歷史と信仰とを統一する事の中に神學の根本的課題が存する」といふ事を、その結論として居る。

トレルチが理想主義派に屬すべき哲學者である事は、いふまでもないが、歷史を尊重し、それを通して行はるゝ新生命の創造を強調して居る點は、大に注意すべき點であらうと思ふ。

題等に明示されて居る通り、この小冊子は、キリスト教の本質論であると同時に、歷史哲學の根本問題にも觸れて居るのであるから、私は、啻にキリスト教學徒に限らず、廣く歷史哲學に關心を有する人々にも、敢て本書の一讀を慫慂する。（立教大學哲學研究室刊行定價二十錢）

新しい詩・その他

中村恭二郎

型をたゝきこわすのだ
詩でない詩を書くのだ

涙が出るのは朧な春の月の爲ではない
悲しいのは失戀のためではない

日毎に俺を蒼ざめさせるもの
それは、もつと手近かな
鐵の鎖と牢獄の存在!
それに驅り立てる鐵の鞭の響!

聞いたか、獸の樣に毛を逆立てゝそれ等、人間の存在を否定するものへの
死を賭した仲間の叫び聲を!

その叫び聲に合せた
新しい詩を綴るのだ!

廣瀨中佐の銅像、

廣瀨中佐の銅像の下で
杉野兵曹長に似た蟻兵が拳を賣つてゐるのだ。

お前の消えない心の創を見るために

お前の消えない心の創を見るために
そんなにまでお前の性格をひんまげ
お前の生活をうちこわしたといふお前の悲しい失戀の語を聽くために
そんならこれから外に出やう
北風とみぞれに凍り付いた
あの大都會の街頭に突立つて
ぼろ〳〵な外套にくるまつた
けれども健氣な群集の間を縫つて
そこでお前の悲しい訴へを聽くことにしやう

產業豫備軍

俺は知らなかつた
俺がいつの間にか廣大な產業豫備軍の一兵卒に編入されたことを!

預言者と農村

須貝止

紀元前第八世紀のことである。エルサレムの西南約十二マイル、ユダの山地とフイリシテア平原との中間なる低地に、モレシテといふ見る影もない寒村があつた。農民の擁護者として活動した豫言者ミカは、此の寒村を背景として起つた。ミカには同時代の大預言者イザヤの如き政治的識見がなかつたので、その預言は、ユダとアッスリヤ及びエジプトとの政治的關係といふが如き點には觸れて居ない。主として彼は、ユダ及びイスラエルの社會道德に關する問題を取り扱つた。彼は一種の社會主義者であつた。その力を極めて攻擊したのは、社會の罪惡であつた。彼は偶像禮拜の罪と言ふが如き方面をあまり高調せず、專ら社會の欠陷に注意を拂つた。

○

殊に彼は自分の周圍の農民階級の人々が受けてゐる、不當の取扱に、いたく心を打たれた。一方に於てさきに女王イゼベルがエズレル人ナボテを殺して、その葡萄園を奪ひとつたやうな（王上二十一章）權力ある者、富める者の暴虐が盛に行はれるかと見れば、他の一方に於て、人々が重き課稅に壓迫されて、起つことが出來ない有樣にある。

「その牀にありて不義を圖り、惡事を工夫る者等には禍あるべし。彼らはその手に力あるが故に、夜明に及べばこれを行ふ。彼らは田圃を貪りてこれを奪ひ、家を貪りて是を取り、また人を虐げてその家を掠め、人を虐げてその產業をかすむ」（二ノ一——二）

これはミカの見た、實際の狀態であつた。彼の眼には又、壯麗なエルサレムの都市は、地方の貧しき人々の血の膏の代價に由つて建てられたものと見えた『彼らは血をもてシオンを建て不義をもてエルサレムを建つ』（三ノ十）といつて居る。かくてこの農民預言者はこれ等の社會的欠陷に對する神の審判の宣言を、自分の使命として起つた。

○

今日何人も、都會生活に對する不當の憧憬が、ローマの昔におけるが如く『頭でつかち』の文明を作り出しつゝある事を拒むとが出來ないであらう。歷史家のいふ所に由れば、ローマの滅んだ一つの原因は、都市集在主義が農村を荒廢に歸せしめたことにあつた。第十八世紀の英國においても、農民の利益が地主及び貴族階級の人々に吸ひ取られた時に、ゴールドスミスの『寒村行』に描かれたやうな農村の疲弊が出現した。我が國においても今日これと同じ狀態が見られようとして居る。都市と農村は貧富共に、一つに結び付けられなければならない。都會生活の改善も、產業生活の合理化も、都市と農村の生活の基礎が、その均衡を保たない中は完全に實現されないであらう。

○

預言者ミカの時代のユダの狀態は、今日の日本にほうふつたるものがある。都會の政治家的預言者として見られて居るイザヤでも、同じ問題に觸れて居る位であるから、況して農村を舞台として活動を初めたミカにあつては、最も痛切にこれを感じたに相違ない。彼がその社會正義の主張において、都會の富者を厳烈に攻擊したのは當然である。

ミカ書の中純粹にミカに屬すべき部分は、一章より三章までゞあるが、こゝに彼は先づ最初に、天の神がサマリヤ及びエルサレムの罪惡を審かんがために降り給ふことを述べ、次ぎに己が故鄕の審判の運命を、力ある筆をもつて記し進んで國民の罪惡とその結果を描き墮落せる政治家や、僞りの指導者が格別にも嚴罰を蒙るべきことを說いて居る。

彼の預言全體を貫いて居るのは虐げられたる村落住民に對する同情である。

昔のヘブル預言者は、多分現代の社會問題の解決に、具體的の助けを與へないであらう。けれども如何なる組織的方策も、彼等の高調した正義の觀念が基礎となつて居ないならば、正しい結果を造り出すことが出來ないであらう。

指環哲學

一馬克生

實際生活を綜合的に研究するものが哲學だそうな。宇宙や人生全般に亙る哲理のウンノウを究めるが如き事は、元來低能で無學な余輩には思ひも寄らぬ。指環哲學がいゝ所だ。

指環とは男又は女の指にはめる金屬又は礦物製の輪である。男女を問はず、中指に指環をはめてゐるものは未婚で配偶者を物色してゐるものであるから、油斷ならぬ奴である。小指にはめたものは結婚の如きいやしい事をやらないで一生獨身で通すといふ頑張りやである。

○

しかして、藥指に嵌めた指環はそれが寶石入りであればエンゲージメント・リングであり、金製又は白金製で、繼目のない細い蒲鉾型であれば、それは結婚指環である。しかしこれ位のことはたれも知つてゐることで、これだけでは哲學にならない。

○

指環の歷史は悠久である。西洋のある學者が古代バビロニアには指環がなかつたといつて得意になつてゐるが、事實はさうでない。スムメル時代の遺蹟から指環が發見されてをり、またアッシリアの文書に、君主が功勞ある臣下を褒賞するに、「彼(王)は彼等にリネンおよび色トリの着物を着せ、指に指環をはめてやり、髮にはくしをさしてやつた」といつてゐるから、世界最古文明國の一つたるバビロニアに指環があつたことは爭ふべくもない事實である。

○

古代エジプトにも種々の指環があつた。殊にエジプト人は環頭に象形文字を刻して印章に使用することが多かつた。舊約聖書に王樣が任官の儀式に指環を授けるところが見え、現在においてもスマトラ人が指環を旅劵に代用のも指環と印章の關係を物語るものであるかも知れない、

ギリシヤにおいても、クレータ、ミケネの古代から指環が愛用され殊に平打のものが多かつた。指環ぜいたく澤の弊もあつたと見えてスパルタでは鐵以上のもので指環を作ることを禁止した。

古代ローマにも指環は早くからあつた。最初は大部分鐵製であつたが、帝國主義のお蔭で四隣を征服して、物貨が豐富になり、人心がシャレてくるに從つて、貴族は金指環をはめてゐた一般市民は銀若くは金の指環をはめるやうになり、從來指環をはめることを許されなかつた奴隸が鐵指環をはめるやうになつた。ローマでは外國に派遣される使節はある特殊の金指環をはめる風習があつた。

○

歷史みたいなことは、これで止めて、指環には何んな種類があるか、その內で重要なものを二三擧げやう。

監督指環。吾々の敬愛するライ公總理が無ザマに大きい寶石入りの指環をはめて居られるが、あれはモボのとは違ふ。エピスコーパル・リングだ。教會監督に授けられるものだ。監督指環の起源は明かでないが、それが官吏の等級によつて指環を制定したローマ人の思想によつたものであることだけは間違ひない。

現在では紀元六一〇年までの監督指環は知られてゐるが、それ以前のは分らない。この種の指環は持主が死んだ場合は、その柩の中に副葬する。

題銘指環。これはシャレモノの部類にいるべきものである。「ヴエニスの商人」の五の一に出てくる「われを愛し、見棄ることなかれ」といふ文句を刻した指環は即むこの種のものである。題銘には教訓的なもの、半ば飾句的な銘を選ぶのが普通である。

○

記年指環。故人の名前、命日を刻し、環を二本の骨に、環頭を棺にこらして作るのが普通である。これは中世紀から流行したものである。大抵は黑又は白に着色する。

毒指環。指環史上で一番奇抜なものは毒指環であらう。環頭の中を空虛にして、その中に毒液を入れたものである。デモステネスの毒指環、その他カルタゴの猛將ハニバルが行詰つて指環の毒を仰いで自殺したといふのは有名な話である。毒指環は他人を毒殺する用具ともなつた。握手するときに毒が相手の手に觸れるやうにする。

○

結婚指環。これは讀者諸君が是非共知つてゐなくてはならぬ肝腎なものである。實物は、英語のN先生、フランス語の、江戸ッ子のG先生、新婚ソウ〳〵のS先生、同じく新婚ソウ〳〵の、民俗學の「太郎」さんについて見るべし。今日、世界文明國人がはめてゐる結婚は皆同源である。古代ローマ人の婚約指環に發祥したものである。ローマ人の婚約指環の起源については二つの異說がある。これは賣買結婚の名殘りで、男が花嫁を購買するために支拂ふ金を象徴するもの が即ち婚約指環であると。或る說、ローマでは婚約指環といつても、今日の如く男女がこれを交換するのでなく、男側が女に與へるのみであつた。

○

この見解によれば、男が婚約指環又は結婚指環をはめるのは矛盾の甚しいものであり、醜態極まる。これと違ふ說ではローマの婚約指環は力と夫婦の結束を象徴するものであると主張する。このやうな解釋は既にプリニの著書に現はれて居り、この思想は今日まで續いてゐる。それには色々の迷信が伴ひ、西洋人は結婚指環が壞れたり、亡くなるやうなことがあれば、それは不吉の兆で、破緣になるか、夫婦のいづれかが死ると思惟するのである。

○

しかしいつ頃から、ローマの婚約指環の風習から今日見るやうな夫婦交換の結婚指環が出來たか、それは不明である。而も尚、今日世界文明國人がはめて怪しまぬ結婚指環はローマ文明の影響の廣大なることを示すものである。

一言斷らねばならぬことが一つある。古代ローマ人の風俗と何等關係のない未開民族の間にも、婚約指環、結婚指環の存在することを見逃してはならぬ。南アフリカのサムベシ地方、インドのアッサム地方のミキール人、アホム人、カアシ人、中央アフリカのフオール人等にはこれらの風習がある。指環は一見、些細な裝身具に過ぎないが、これには案外色々な意味が含まれてゐる。富をほこるためのもの、自害又は迫害のためのもの、威嚴のためのもの、旅劵の用をなすもの、印章となるもの、昔日の賣買結婚を髣髴するもの、男女の結束をかたくするもの、信心のためのもの、記念用のもの、惡魔はらひのためのもの、權力を增進させるためのもの、等々。現代の文明人、しかも彼らの手先にはめられたる結婚指環なるものは、いづれにしても、原始未開思想の遺物なのである。

立大歌壇

シユレーデル

水底は春のひかりなり影ひめて魚ゐると思ふかゝるさみしさ　（三寶池）

水の底の聲は蛙なり樹に寄りて聞き澄まし居ればおさなき蛙

まひる佇てば水と林と赤土のひかりはろけき春の目路かも　（石神井行）

ゆたか

淺澤に芽をとゝのへし河骨のつぼみ見えてゐて澄める水かも

貞享の年號ある石佛の傍過ぐる路の陽炎

新刊・寄贈書

◇インク街に描く（原田讓二著）新聞人のみの知る世界、そして他の人の書けない味がある、新聞人ならざる人も一讀得るところあり（四六判三二七頁・價一圓六十錢　本郷區弓町一ノ二五、一元社）

◇藝術社會學（フリーチエ著、昇曙夢譯）著者は帝政時代からマルクス主義文藝理論家、文學家、批評家としてその名はほとんど世界的で、造形美術に關する新らしいマルクス主義的解釋においては唯一の先驅で、一讀を要する好著である（四六判、二八八頁、價一圓五十錢、牛込區矢來町、新潮社）

◇東洋史概說　白鳥淸編　價二圓三十錢　本郷區駒込林町一七五、白林社刊行

◇解放　五月號　芝區新櫻田十九　解放社發行　價拾五錢

◇世界と我等　五月號　國際聯盟協會發行　價拾錢

◇戰旗　五月號　有樂町一ノ四　戰旗社發行　價三拾五錢

◇プロレタリヤ科學　五月號　四谷區傳馬町一ノ六　叢人社發行　價四拾錢

◇社會學徒　五月號　麴町區富士見五ノ九教育研究會發行　價二十五錢

美津濃の靴と文具

國產蓄音器
最高位の
マーヴェル
¥50
¥150
本器を試聽せずに蓄音器を求めらる、は早計なり
東京銀座三丁目
十字屋樂器店

最も新しき近代性を以て
香氣も、味覺も、色彩も、齒ざはりも、若人の感覺にぴつたりする
ライオン齒磨
新品進呈
ライオン齒磨煉製チユーブ入の錫の空殼十二個を東京本舖宛にお送り下されば新品一個差上ます。
ライオン齒磨本舖　株式會社小林商店

毎年流行を先驅する
ヨシノヤの靴
ヨシノヤ靴店
銀座松坂屋前

壹圓
定食
日本料理
清酒二本
御飯もんく
大廣間あり
小石川春日町
電話小石川九二七番
大國

COCKTAILS
AMATEUR STAND
DAIICHISOGO BLDG
KYOBASHI

初夏
スポーツ
ピクニツクに
立大御用寫眞專門
マルヤ

御名前入
原稿用紙
千枚一、五〇ヨリ各種
見本進呈要二錢切手
府下板橋町中丸二四八二
スズヤ
振替東京七七〇一〇番

喫茶と支那料理
晝食は品質本位の巴家へ
立教大學裏
巴家

洋酒
喫茶
青空
池袋仲町通り
一〇四一
毎週月曜日にはコーヒ券を差上ます

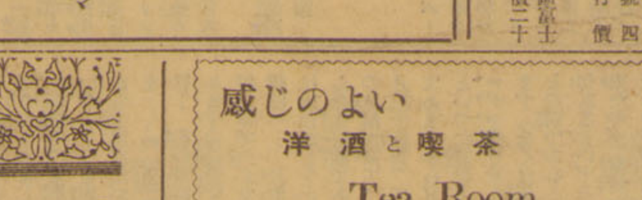
DITTMAR, BLN.-CHARLO
IN OSTERREICH FOR HERAU
喫茶
ランチ
エルテル
新宿・武藏野館前
GEDRUCKT BEI RICHARD LA
CHISATO・1929.

感じのよい
洋酒と喫茶
Tea Room
AZAMI
IKEBUKURO
1.158

洋酒と喫茶
ミケ
河野ビリヤード附近
池袋新町一一一五番地

BAR
TEA ROOM
RESTUARANT
丸間戸ハウス
CAFE FUJI
不二
池袋喫茶橫丁

上海料理
御晝食は三樂で
電大塚3260
三樂
師範前通り



初夏の散策は
京王電車の京王閣へ
新綠の京王閣遊園地
プールも近く開場
初夏の御散策は
多摩河原京王閣

第三回全國一般女子庭球大會
一、試合規則　日本軟球聯盟ルール
一、會期　昭和五年六月十五日（日）雨天次週日曜日
一、會場　多摩河原遊園地京王閣コート
一、申込　東京府代々幡町笹塚京王電車運輸課
一、〆切　六月十日
主催　京王電氣軌道株式會社
後援　日本軟球聯盟東京支部